

令和５年度 第３回 磐田市地域公共交通会議 次第

日時：令和５年１月１５日（月）１０時～

場所：磐田市役所西庁舎３階 304・305 会議室

１ 開 会

２ 会長あいさつ

３ 協議事項

議案第１号 単独継続困難申出路線及び市自主運行申出路線について

議案第２号 デマンド型乗合タクシーの運行内容の変更について

議案第３号 デマンド型乗合タクシー（フィーダー系統）の自己評価について

議案第４号 地域間幹線系統に関する事業評価について

４ 報告事項

報告第１号 地域公共交通会議検討部会の開催について

５ そ の 他

６ 閉 会

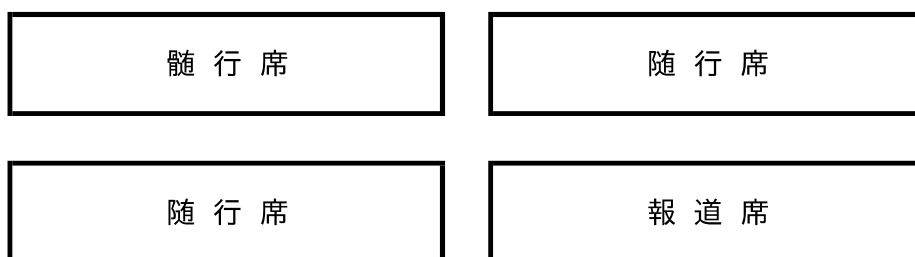
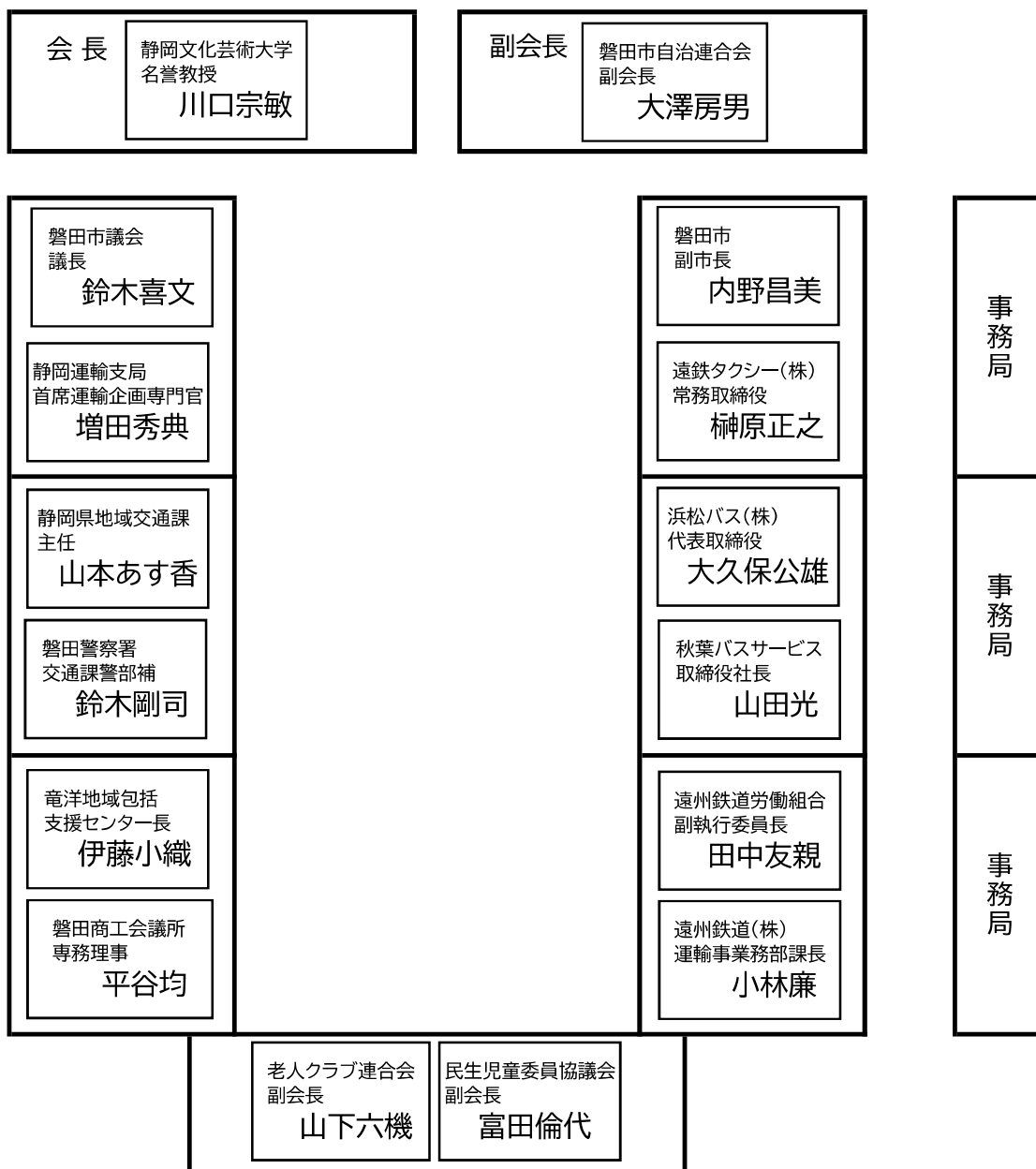
磐田市地域公共交通会議委員名簿

(敬称略)
令和6年1月現在

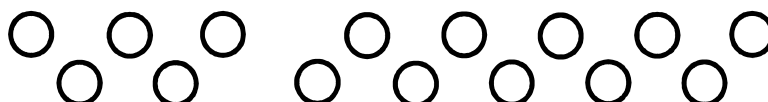
No.	職	区分	所属	役職	氏名	備考
1	会長	学識経験者	静岡文化芸術大学	名誉教授	川口 宗敏	
2		市議会の議員	磐田市議会	議長	鈴木 喜文	
3		関係行政機関の職員	中部運輸局静岡運輸支局	首席運輸企画専門官	増田 秀典	
4		関係行政機関の職員	静岡県交通基盤部都市局	地域交通課長	平野 隆広	代理出席者 主任 山本 あす香
5		関係行政機関の職員	静岡県袋井土木事務所	企画検査課長	内海 孝久	欠席
6		関係行政機関の職員	磐田警察署	交通課長	中村 嘉之	代理出席者 警部補 鈴木 剛司
7		関係行政機関の職員	袋井市	理事兼 総務部長	乗松 里好	欠席
8	副会長	市民の代表者	磐田市自治会連合会	副会長	大澤 房男	
9		市民の代表者	磐田市竜洋 地域包括支援センター	センター長	伊藤 小織	
10		市民の代表者	磐田商工会議所	専務理事	平谷 均	
11		市民の代表者	磐田市老人クラブ連合会	副会長	山下 六機	
12		市民の代表者	磐田市民生委員児童委員協議会	副会長	富田 倫代	
13		市民の代表者	公募委員		神谷 剛志	欠席
14		公共交通事業者	遠州鉄道株式会社	運輸事業部長	石田 博久	代理出席者 課長 小林 廉
15		公共交通事業者	遠州鉄道労働組合	副執行委員長	田中 友親	
16		公共交通事業者	秋葉バスサービス株式会社	取締役社長	山田 光	
17		公共交通事業者	浜松バス株式会社	代表取締役	大久保 公雄	
18		公共交通事業者	静岡県バス協会	専務理事	堀内 哲郎	欠席
19		公共交通事業者	遠鉄タクシー株式会社	常務取締役 運行営業部長	榊原 正之	
20		市の職員	磐田市	副市長	内野 昌美	

令和5年度 第3回 磐田市地域公共交通会議 座席表

(敬称略)



傍聴15席



単独継続困難申出路線及び市自主運行申出路線について

令和 5 年 9 月 29 日までに静岡県生活交通確保対策協議会に申し出のあった下記の単独継続困難路線（系統）及び本市自主運行路線（系統）については、地域住民の日常生活に必要な移動手段であることから、当該路線（系統）を生活交通として維持する必要があると判断する。

記

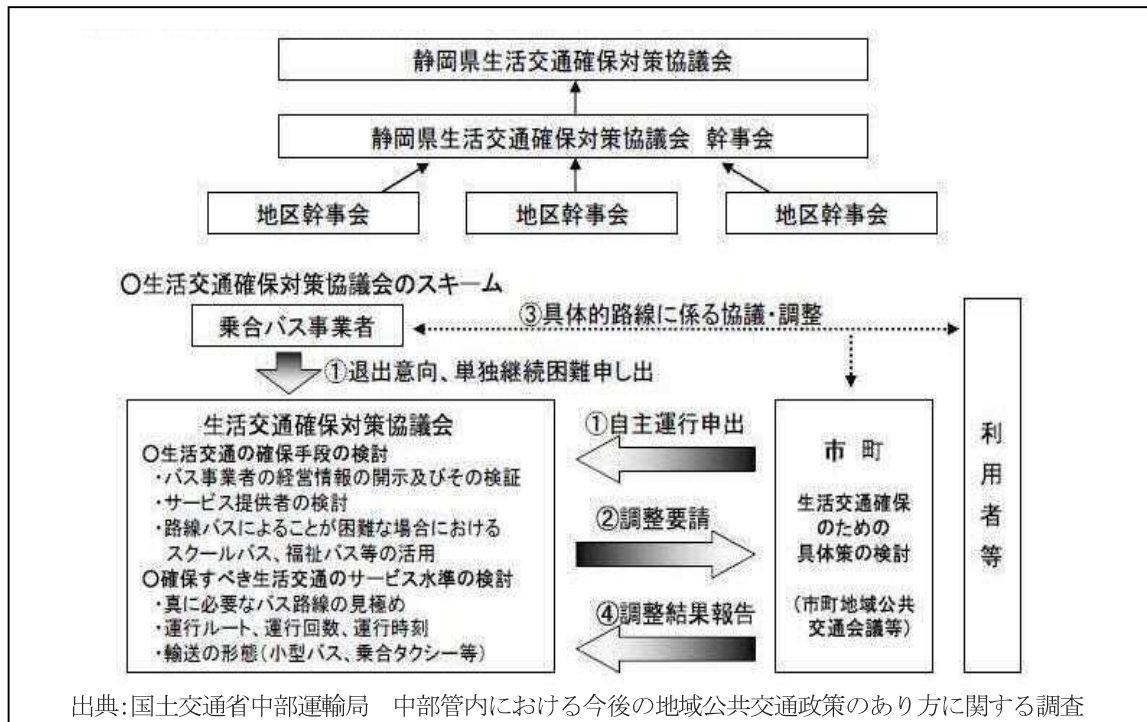
- 1 単独継続困難申出路線（事業者地域間幹線系統及び事業者フィーダー）
4 路線 7 系統
- 2 単独継続困難申出路線（事業者市町単独補助系統）
4 路線 10 系統
- 3 市自主運行申出路線
10 路線 13 系統

単独継続困難申出路線及び市自主運行申出路線について

1 要 旨

事業者単独での旅客自動車運送事業の継続が困難である旨の申出をした路線及び市が運行する旨の申出をした路線について、対応方策等を検討・調整するためご意見を伺うものです。

【静岡県における県協議会と市町協議会との調整要請の仕組み】



【補助制度】

令和6年度に交付される補助金と対象期間は次のとおりです。

- | | |
|--------------------------------|-------------------|
| ・地域間幹線系統確保維持費国庫補助金
(国・県) | 令和5年10月～令和6年9月運行分 |
| ・地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
(国) | 令和5年10月～令和6年9月運行分 |
| ・市町自主運行バス事業費補助金
(県) | 令和5年4月～令和6年3月運行分 |
| ・磐田市生活バス路線維持費補助金国庫補助路線
(市) | 令和5年10月～令和6年9月運行分 |
| ・磐田市生活バス路線維持費補助金市補助路線
(市) | 令和5年10月～令和6年9月運行分 |
| ・磐田市広域生活バス路線磐田線運行事業費補助金
(市) | 令和6年4月～令和7年3月運行分 |

2 対象路線

[単独継続困難申出路線（事業者地域間幹線系統及び事業者フィーダー）]

	運行事業者	路線名	路線概要
1	遠州鉄道(株)	磐田市立病院福田線	・磐田市立総合病院から磐田駅を經由し、福田地区を結ぶ路線 ・磐田市立病院への通院、沿線住民の通勤通学や生活に必要な路線
2		中ノ町磐田線	・浜松駅から磐田駅を經由し、遠鉄磐田営業所を結ぶ路線 ・主要な幹線である県道を主なルートとしており、沿線住民の通勤通学や生活に必要な路線
3		磐田天竜線	・浜松市山東から磐田市北端部を經由し、磐田駅を結ぶ路線 ・磐田市街地への通勤通学、沿線住民の生活に必要な路線
4		掛塚さなる台線	・浜松駅から掛塚を經由し、福田地区を結ぶ路線 ・沿線住民の通勤通学や生活に必要な路線

[単独継続困難申出路線（事業者市町単独補助系統）]

	運行事業者	路線名	路線概要
1	遠州鉄道(株)	城之崎線	・磐田駅から磐田東部地区を經由し、遠鉄磐田営業所を結ぶ路線 ・沿線住民の通勤通学や生活に必要な路線
2		中ノ町磐田線	・浜松駅や磐田駅から磐田中央地区を經由し、遠鉄磐田営業所を結ぶ路線 ・主要な幹線である県道を主なルートとしており、沿線住民の通勤通学や生活に必要な路線
3		磐田天竜線	・磐田駅から磐田中央地区を經由し、ららぽーと磐田を結ぶ路線 ・磐田市街地への通勤通学、沿線住民の生活に必要な路線
4		磐田市立病院福田線	・磐田駅から磐田中央地区を經由し、磐田市立総合病院を結ぶ路線 ・沿線住民の通勤通学や生活に必要な路線

[市自主運行申出路線]

	運行主体（事業者）	路線名	路線概要
1	磐田市 (秋葉バスサービス(株))	磐田線	・ 3市町（磐田市、袋井市、森町）の共同により運行 ・ 沿線の高校生の通学の足として磐田駅までをつなぐ必要な路線
2	磐田市 (遠鉄タクシー(株))	デマンド型乗合タクシー (竜洋線)	・ 竜洋地区～豊田町駅・磐田駅周辺～磐田市立総合病院 ・ 高齢者など交通弱者の足の確保のため必要な路線
3		デマンド型乗合タクシー (福田線)	・ 福田地区～磐田駅周辺～磐田市立総合病院 ・ 高齢者など交通弱者の足の確保のため必要な路線
4		デマンド型乗合タクシー (豊岡線)	・ 豊岡地区～磐田市立総合病院～豊田町駅・磐田駅周辺 ・ 高齢者など交通弱者の足の確保のため必要な路線
5		デマンド型乗合タクシー (磐田北部線)	・ 磐田北部地区～地区外商業施設～磐田駅周辺 ・ 高齢者など交通弱者の足の確保のため必要な路線
6		デマンド型乗合タクシー (磐田東部線)	・ 磐田東部地区～磐田市立総合病院・磐田駅周辺 ・ 高齢者など交通弱者の足の確保のため必要な路線
7		デマンド型乗合タクシー (磐田南部線)	・ 磐田南部地区～豊田町駅・磐田駅周辺～磐田市立総合病院 ・ 高齢者など交通弱者の足の確保のため必要な路線
8		デマンド型乗合タクシー (豊田線)	・ 豊田地区～磐田駅周辺～磐田市立総合病院 ・ 高齢者など交通弱者の足の確保のため必要な路線
9		デマンド型乗合タクシー (磐田中央線)	・ 磐田中央地区～磐田市立総合病院 ・ 高齢者など交通弱者の足の確保のため必要な路線
10	磐田市 (浜松バス(株))	掛塚磐田駅線	・ 竜洋地区（掛塚）から磐田駅を結ぶ路線 ・ 沿線の通勤・通学の足の確保に必要な路線

(1) 単独継続困難申出路線（事業者地域間幹線系統及び事業者フィーダー）

番号	系統名 (路線名)	起 点	年度	運行の状況			収支の状況		
		経過地		実車走行 キロ (km)	運行 日数	乗車人員 (人)	経常費用 (円)	経常収益 (円)	経常欠損額 (円)
		終 点							
1	磐田市立 病院福田	磐田市立病院	R 4 年度	139,549.9	365	123,956	55,956,718	26,700,632	29,256,086
		磐田駅	R 5 年度	85,479.1	365	75,927	34,114,709	16,355,053	17,759,656
		豊浜郵便局	R 6 年度	85,741.6	365	76,160	34,750,213	16,405,278	18,344,935
2	磐田市立 病院福田	磐田駅南口	R 4 年度	46,670.6	365	35,883	18,713,977	7,247,314	11,466,663
		福田車庫	R 5 年度	60,463.8	365	46,488	24,131,103	9,389,212	14,741,891
		豊浜郵便局	R 6 年度	48,800.0	365	37,520	19,778,152	7,577,981	12,200,171
3	中ノ町磐田	浜松駅	R 4 年度	190,295.0	365	294,907	76,304,489	51,428,352	24,876,137
		中ノ町	R 5 年度	172,462.5	365	267,271	68,829,784	46,609,013	22,220,771
		磐田営業所	R 6 年度	172,935.0	365	268,004	70,088,826	46,736,709	23,352,117
4	磐田天竜	山東	R 4 年度	104,686.9	365	74,367	41,977,353	21,453,600	20,523,753
		新開	R 5 年度	104,967.7	365	74,566	41,892,609	21,511,145	20,381,464
		磐田駅	R 6 年度	79,688.5	365	56,609	32,296,952	16,330,651	15,966,301
5	磐田天竜	山東	R 4 年度	298,054.9	365	231,415	119,514,053	56,696,366	62,817,687
		ららぽーと磐田	R 5 年度	258,312.6	365	200,558	103,092,559	49,136,537	53,956,021
		磐田駅	R 6 年度	259,152.4	365	201,210	105,031,876	49,296,285	55,735,591
6	掛塚さなる台	浜松駅	R 4 年度	68,196.6	365	71,035	27,345,472	15,216,086	12,129,386
		掛塚	R 5 年度	52,592.0	365	54,781	20,989,467	11,734,374	9,255,093
		豊浜郵便局	R 6 年度	52,765.0	365	54,961	21,385,127	11,772,974	9,612,153
7	掛塚さなる台	浜松駅	R 4 年度	116,596.2	365	200,064	46,752,744	38,307,596	8,445,148
		芳川	R 5 年度	124,248.3	365	213,194	49,587,497	40,821,688	8,765,809
		掛塚	R 6 年度	124,586.4	365	213,774	50,493,622	40,932,770	9,560,852
合計			R 4 年度	964,050.1	365	1,031,627	386,564,806	217,049,946	169,514,860
			R 5 年度	858,526.0	365	932,785	342,637,728	195,557,022	147,080,705
			R 6 年度	823,668.9	365	908,238	333,824,768	189,052,648	144,772,120

【備考】

- ①R4年度（R03.10.01～R04.09.30）は実績値、R5年度（R04.10.01～R05.09.30）とR6年度（R05.10.01～R06.09.30）は見込値を記載しています。
- ②令和4年度までは、系統ごとに経常欠損額から国県補助額を差し引いた残りの欠損額の1/2を磐田市が補助しました。
- ③令和5年度からは、系統ごとに経常欠損額から国県補助額を差し引いた残りの欠損額を磐田市が補助します。

(2) 単独継続困難申出路線（事業者市町単独補助系統）

番号	系統名 (路線名)	起 点	年度	運行の状況			収支の状況		
		経過地		実車走行 キロ (km)	運行 日数	乗車人員 (人)	経常費用 (円)	経常収益 (円)	経常欠損額 (円)
		終 点							
1	城之崎	磐田駅	R 3 年度	25,593.6	365	27,924	10,109,472	2,827,909	7,281,563
		城之崎	R 4 年度	18,960.0	365	22,062	7,787,820	2,400,672	5,387,148
		磐田営業所	R 5 年度	18,960.0	366	22,062	5,602,951	1,192,020	4,410,931
2	城之崎	磐田駅	R 3 年度	3,497.4	365	7,502	1,381,473	1,227,458	154,015
		城之崎・磐田営業所	R 4 年度	3,155.2	365	7,114	1,295,998	1,201,312	94,686
		スズキ	R 5 年度	3,155.2	366	7,114	770,576	596,495	174,081
3	城之崎	磐田駅	R 3 年度	800.1	76	791	316,040	125,100	190,940
		東高校・城之崎	R 4 年度	2,299.5	365	980	944,520	139,718	804,802
		磐田営業所	R 5 年度	2,299.5	366	980	562,636	69,375	493,261
4	中ノ町磐田	磐田駅	R 3 年度	28,315.5	365	35,494	11,184,623	4,221,141	6,963,482
		加茂川	R 4 年度	23,155.5	365	38,020	9,511,122	4,452,127	5,058,995
		磐田営業所	R 5 年度	23,155.5	366	38,020	6,360,059	1,887,889	4,472,170
5	中ノ町磐田	磐田営業所	R 3 年度	4,617.2	238	8,197	1,823,794	1,465,768	358,026
		東高校	R 4 年度	4,675.4	241	10,246	1,920,421	1,914,942	5,479
		浜松駅	R 5 年度	4,675.4	241	10,246	1,284,180	812,016	472,164
6	磐田天竜	磐田駅	R 3 年度	27,724.2	365	37,460	10,951,059	9,556,144	1,394,915
		加茂川	R 4 年度	33,575.4	365	55,829	17,791,096	13,749,316	4,041,780
		ららぽーと磐田	R 5 年度	33,575.4	366	55,829	21,253,242	16,621,709	4,631,533
7	磐田市立 病院福田	磐田駅	R 3 年度	42,191.2	365	38,350	16,665,524	7,012,192	9,653,332
		本通	R 4 年度	45,273.2	365	50,613	18,595,967	9,286,637	9,309,330
		磐田市立病院	R 5 年度	45,273.2	366	50,613	18,486,115	5,555,784	12,930,330
8	磐田市立 病院福田	磐田駅	R 3 年度	3,613.5	365	10,468	1,427,333	1,673,645	-
		北高校前	R 4 年度	5,999.4	365	16,169	2,464,254	1,815,000	649,254
		磐田市立病院	R 5 年度	5,999.4	366	16,169	2,449,696	1,727,666	722,030
9	磐田市立 病院福田	磐田駅	R 3 年度	1,183.2	204	9,211	467,364	893,566	-
		加茂川	R 4 年度	1,194.8	206	13,142	490,764	1,336,600	-
		北高校前	R 5 年度	1,194.8	204	13,142	487,865	799,629	-
10	磐田市立 病院福田	北見町	R 3 年度	754.8	204	8,437	298,146	943,016	-
		美登里町	R 4 年度	762.2	206	7,523	313,074	840,673	-
		磐田北小	R 5 年度	762.2	204	7,523	311,224	502,937	-
合計			R 3 年度	138,290.7	291	183,834	54,624,828	29,945,939	25,996,273
			R 4 年度	139,050.6	321	221,698	61,115,036	37,136,997	25,351,474
			R 5 年度	139,050.6	321	221,698	57,568,544	29,765,520	28,306,500

【備考】

- ①R3年度（R03.04.01～R04.03.31）とR4年度（R04.04.01～R05.03.31）は実績値、R5年度（R05.04.01～R06.03.31）は見込値を記載しています。
- ②令和5年度からは、系統ごとに経常欠損額を磐田市が補助します。

番号	系統名 (路線名)	起 点	年度	運行の状況			収支の状況		
		経過地 終 点		実車走行 キロ (km)	運行 日数	乗車人員 (人)	経常費用 (円)	経常収益 (円)	経常欠損額 (円)
1	磐田線 (森山入口)	磐田駅	R 3 年度	31,508.4	242	23,126	9,597,773	5,814,840	3,782,933
		森山入口	R 4 年度	31,638.6	243	22,692	10,006,023	5,773,192	4,232,831
		遠州森町	R 5 年度	31,638.6	242	21,348	11,185,827	5,337,058	5,848,769
2	磐田線 (森町病院)	磐田駅	R 3 年度	21,298.3	242	7,956	6,487,675	2,035,414	4,452,261
		森町病院	R 4 年度	21,386.3	243	14,283	6,763,631	3,642,605	3,121,026
		遠州森町	R 5 年度	21,386.3	242	13,437	7,561,126	3,363,188	4,197,938
合計			R 3 年度	52,806.7	242	31,082	16,085,448	7,850,254	8,235,194
			R 4 年度	53,024.9	243	36,975	16,769,654	9,415,797	7,353,857
			R 5 年度	53,024.9	242	34,785	18,746,953	8,700,246	10,046,707

【備考】
 ①R3年度（R03.04.01～R04.03.31）とR4年度（R04.04.01～R05.03.31）は実績値、R5年度（R05.04.01～R06.03.31）は見込値を記載しています。
 ②関係市町（袋井市、森町）との合算した数値を記載しています。
 ③経常欠損額または経常費用の9/20のいずれか少ない額の1/2の県費補助を受けています。

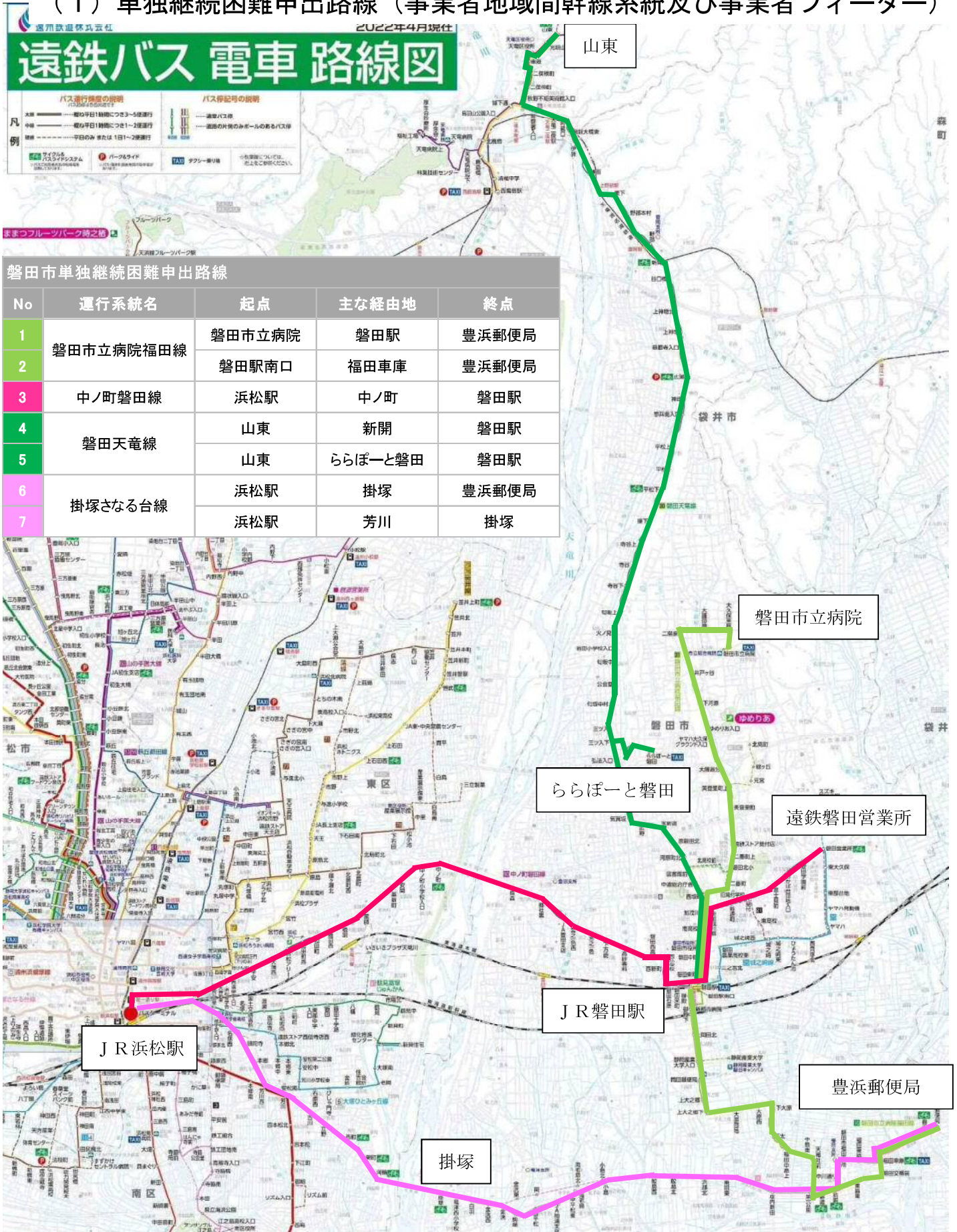
番号	系統名 (路線名)	起 点	年度	運行の状況			収支の状況		
		経過地 終 点		実車走行 キロ (km)	運行 日数	乗車人員 (人)	経常費用 (円)	経常収益 (円)	経常欠損額 (円)
1	デマンド型 乗合タクシー (竜洋)	竜洋地区	R3年度	26,507.0	293	4,321	9,349,080	1,902,700	7,446,380
		豊田町駅・磐田駅	R4年度	33,311.0	293	5,841	12,224,240	2,456,200	9,768,040
		磐田市立総合病院	R5年度	34,454.0	300	6,314	12,857,856	2,481,120	10,376,736
2	デマンド型 乗合タクシー (福田)	福田地区	R3年度	14,335.0	289	2,597	5,925,050	1,147,300	4,777,750
		磐田駅周辺	R4年度	17,048.0	290	3,301	6,939,220	1,354,900	5,584,320
		磐田市立総合病院	R5年度	19,716.0	300	4,042	7,881,240	1,627,440	6,253,800
3	デマンド型 乗合タクシー (豊岡)	豊岡地区	R3年度	8,641.0	284	1,724	3,784,250	616,500	3,167,750
		豊田町駅・磐田駅	R4年度	6,877.0	275	1,699	3,690,540	547,300	3,143,240
		なぎの木会館	R5年度	9,521.0	295	2,333	4,775,808	741,360	4,034,448
4	デマンド型 乗合タクシー (磐田北部)	磐田北部地区	R3年度	5,525.0	259	1,012	2,716,540	450,100	2,266,440
		磐田駅周辺	R4年度	8,252.0	276	1,399	3,468,870	614,900	2,853,970
		なぎの木会館	R5年度	11,018.0	295	1,858	4,748,496	839,760	3,908,736
5	デマンド型 乗合タクシー (磐田東部)	磐田東部地区	R3年度	23,669.0	293	5,863	10,872,560	2,004,900	8,867,660
		磐田駅周辺	R4年度	25,987.0	293	6,688	12,269,350	2,279,700	9,989,650
		なぎの木会館	R5年度	27,278.0	300	7,169	13,446,912	2,514,240	10,932,672
6	デマンド型 乗合タクシー (磐田南部)	磐田南部地区	R3年度	18,232.0	291	3,853	8,200,530	1,619,800	6,580,730
		豊田町駅・磐田駅	R4年度	21,541.0	293	4,885	9,541,030	1,956,900	7,584,130
		磐田市立総合病院	R5年度	21,857.0	300	4,934	9,266,952	1,885,920	7,381,032
7	デマンド型 乗合タクシー (豊田)	豊田地区	R3年度	25,699.0	293	7,014	11,171,290	2,521,200	8,650,090
		磐田駅周辺	R4年度	28,975.0	293	7,762	12,394,300	2,716,400	9,677,900
		磐田市立総合病院	R5年度	30,766.0	300	8,239	12,044,232	2,824,560	9,219,672
8	デマンド型 乗合タクシー (磐田中央)	磐田中央地区	R3年度	29,558.0	293	10,152	15,467,220	3,288,600	12,178,620
		磐田駅周辺	R4年度	34,274.0	293	12,438	17,871,080	3,749,200	14,121,880
		磐田市立総合病院	R5年度	40,685.0	300	14,563	19,386,312	4,476,000	14,910,312
合計			R3年度	152,166.0	287	36,536	67,486,520	13,551,100	53,935,420
			R4年度	176,265.0	288	44,013	78,398,630	15,675,500	62,723,130
			R5年度	195,295.0	299	49,452	84,407,808	17,390,400	67,017,408

【備考】
①R3年度（R03.04.01～R04.03.31）とR4年度（R04.04.01～R05.03.31）は実績値、R5年度（R05.04.01～R06.03.31）は見込値を記載しています。
②番号2・8の福田線・磐田中央線の2路線は、経常欠損額1/2の国庫補助を受けています。
③その他の路線は、経常欠損額または経常費用の9/20のいずれか少ない額の1/2の県費補助を受けています。

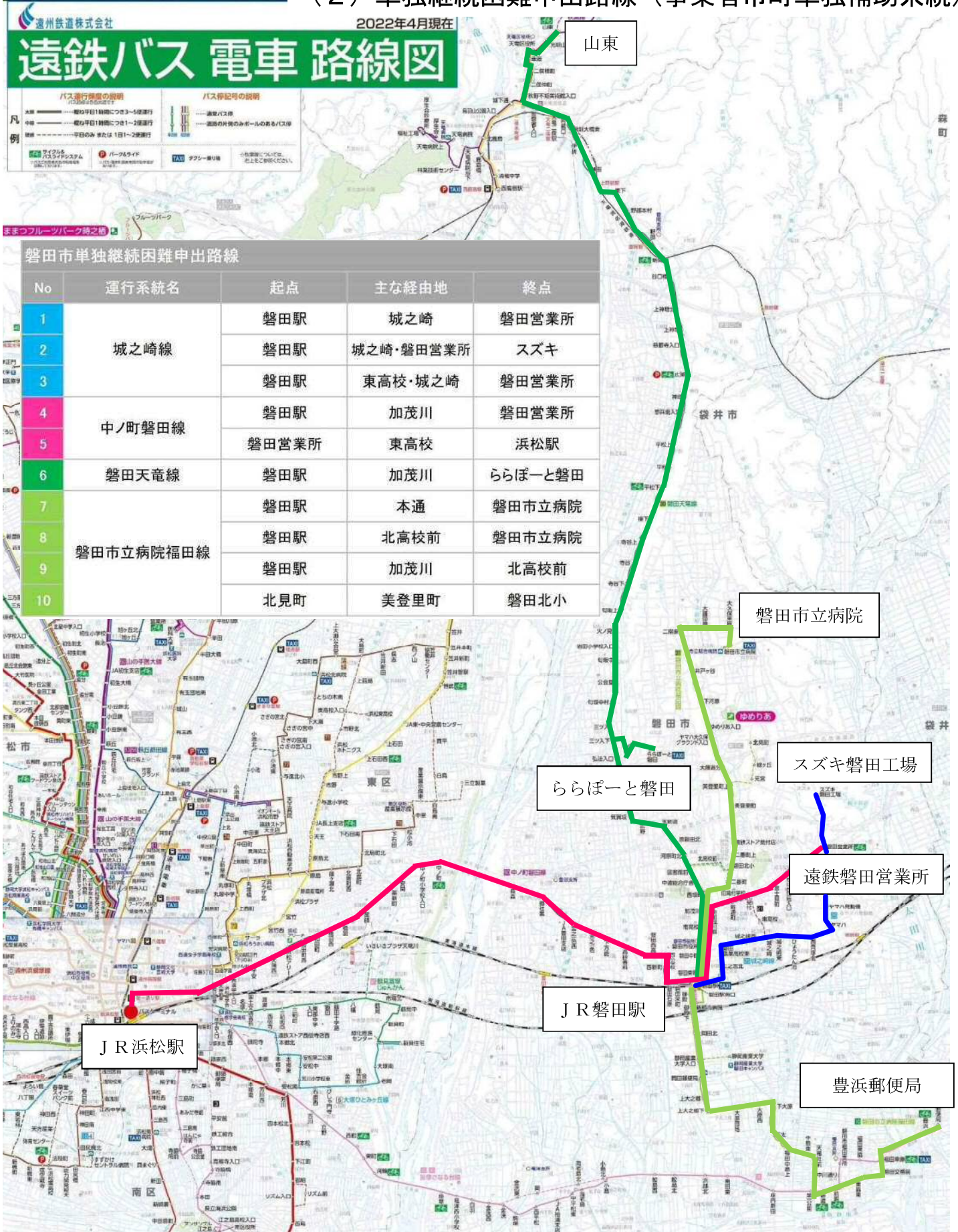
番号	系統名 (路線名)	起 点	年度	運行の状況			収支の状況		
		経過地 終 点		実車走行 キロ (km)	運行 日数	乗車人員 (人)	経常費用 (円)	経常収益 (円)	経常欠損額 (円)
1	掛塚磐田駅線 (とつか)	掛塚蟹町	R 3 年度	-	-	-	-	-	-
		とつか・豊田町駅	R 4 年度	37,797.0	293	11,419	15,725,398	2,414,964	13,310,434
		磐田駅	R 5 年度	37,797.0	293	10,100	15,750,294	2,540,000	13,210,294
2	掛塚磐田駅線 (千手堂)	掛塚蟹町	R 3 年度	-	-	-	-	-	-
		千手堂	R 4 年度	24,524.1	293	8,403	10,203,224	1,777,121	8,426,103
		磐田駅	R 5 年度	24,524.1	293	8,200	10,219,377	1,902,000	8,317,377
3	掛塚磐田駅線 (北高)	掛塚蟹町	R 3 年度	-	-	-	-	-	-
		千手堂・磐田駅	R 4 年度	3,545.3	293	4,830	1,475,018	1,021,480	453,538
		磐田北高	R 5 年度	3,545.3	293	4,800	1,477,353	1,084,000	393,353
合 計			R 3 年度	-	-	-	-	-	-
			R 4 年度	65,866.4	293	24,652	27,403,640	5,213,565	22,190,075
			R 5 年度	65,866.4	293	23,100	27,447,024	5,526,000	21,921,024

【備考】
 ①R 4 年度から運行を開始しており、R 4 年度（R04.04.01～R05.03.31）は実績値、R 5 年度（R05.04.01～R06.03.31）は見込値を記載しています。
 ②経常欠損額または経常費用の 9/20 のいずれか少ない額の 1/2 の県費補助を受けています。

(1) 単独継続困難申出路線（事業者地域間幹線系統及び事業者フィーダー）

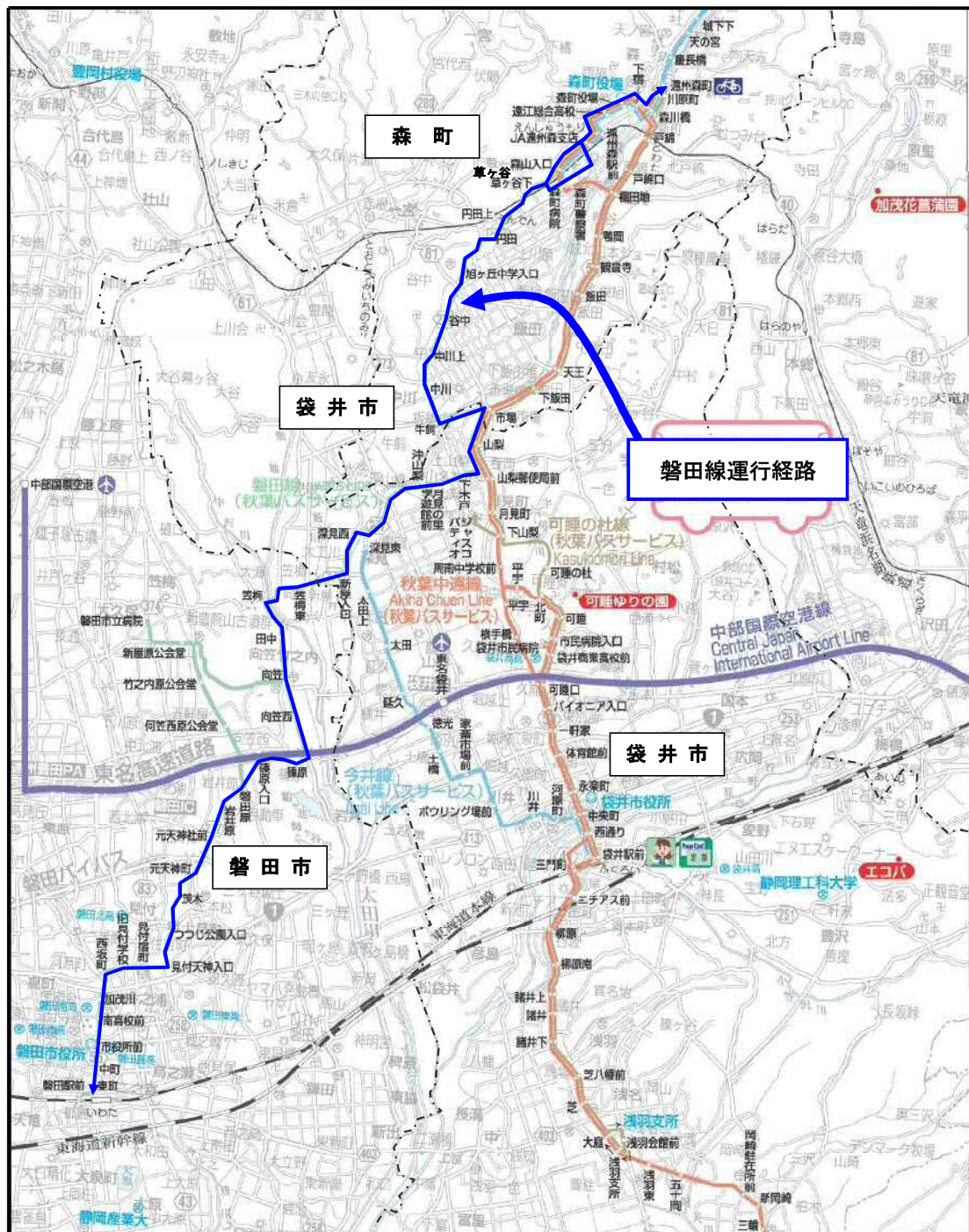


(2) 単独継続困難申出路線 (事業者市町単独補助系統)



(3) 市自主運行申出路線 1 / 3

「磐田線」路線図



■ 運行内容

(1) 運行系統 2 系統

	起点	経由地	終点	キロ程	磐田市内 キロ程
1	遠州森町	森町病院	磐田駅	22.0 km	9.7 km
2	遠州森町	森山入口	磐田駅	21.7 km	9.7 km

(2) 運行日

平日運行（土曜日、日曜日及び祝日は運休）



お助け号



「お助け号」って
どんな乗り物?

市内を8つの地区に分けて
運行している乗合タクシーです。

🏠 (自宅) ⇄ 🏢 (指定施設) の間を
移動することができます。途中下車は
できません。

決められた運行時刻に利用することが
できます。利用できる路線は、お住いの
地区の路線に限ります。



使い方は?

利用者登録を事前にします。
利用者登録完了の後、電話で利用
する運行便を予約して使います。
詳しい使い方については、次の
ページをご確認ください。



誰が使えるの?

お住いの地区の路線に
限りどなたでも使えます。
ただし、磐田中央線は、
「65歳以上」または、「障
害者手帳等所持者とそ
の介助者のみ」利用する
ことができます。



乗降場所 表示



または



事前予約に基づ
いて運行します。
お急ぎの方は
一般タクシーを
ご利用ください。



運 行 日 : 月曜日～土曜日

運 休 日 : 日曜日・祝日・年末年始(12/29～1/3)

運行時刻 : 最後のページにて確認してください。

詳しい使い方については
次のページへ



磐田市生活バス路線

2023年4月

掛塚磐田駅線マップ

運行日 月曜日～土曜日

※ 日曜日・祝日・年末年始(12/29～1/3)は運行しません

問合せ: 浜松バス株式会社 ☎053-584-4000

http://www.hamabus.co.jp/route/kaketsukaiwata

※ 詳細は浜松バス(株)のホームページをご覧ください



とつか系統

● 掛塚行 Outbound line											● 磐田駅行 Inbound line										
停留所	平日					土曜・日					停留所	平日					土曜・日				
	1日	2日	3日	4日	5日	1日	2日	3日	4日	5日		1日	2日	3日	4日	5日	1日	2日	3日	4日	5日
磐田駅 Iwata-Eki	8:19	7:50	18:15	18:00	18:00	8:19	7:50	18:15	18:00	18:00	磐田駅 Iwata-Eki	7:00	8:15	16:00	15:22	19:15	20:00	8:40	17:00	17:22	19:15
西郷町 Saiyō-cho	8:21	7:52	18:16	18:01	18:01	8:21	7:52	18:16	18:01	18:01	西郷町 Saiyō-cho	7:02	8:17	16:02	15:24	19:17	20:02	8:42	17:02	17:24	19:17
上郷公園 Kamigō-Kōen	8:22	7:54	18:17	18:02	18:02	8:22	7:53	18:17	18:02	18:02	上郷公園 Kamigō-Kōen	7:03	8:18	16:03	15:25	19:17	20:03	8:43	17:03	17:25	19:17
磐田西小 Iwata-Nishio	8:23	7:55	18:19	18:03	18:03	8:23	7:54	18:19	18:03	18:03	磐田西小 Iwata-Nishio	7:03	8:19	16:04	15:26	19:18	20:04	8:44	17:04	17:26	19:18
磐田南小 Iwata-Minami	8:24	7:57	18:20	18:05	18:05	8:24	7:55	18:20	18:05	18:05	磐田南小 Iwata-Minami	7:04	8:24	16:06	15:27	19:19	20:04	8:44	17:05	17:27	19:19
天竜 Tenryū	8:25	7:58	18:22	18:06	18:06	8:25	7:57	18:22	18:06	18:06	天竜 Tenryū	7:05	8:25	16:09	15:27	19:20	20:05	8:45	17:06	17:28	19:20
天竜南 Tenryū-Minami	8:26	8:00	18:23	18:08	18:08	8:26	7:59	18:23	18:08	18:08	天竜南 Tenryū-Minami	7:07	8:33	16:09	15:29	19:20	20:07	8:47	17:08	17:30	19:20
電洋中島 Denryō-Nakajima	8:27	8:01	18:23	18:09	18:09	8:27	8:01	18:23	18:09	18:09	電洋中島 Denryō-Nakajima	7:07	8:35	16:09	15:30	19:21	20:07	8:47	17:08	17:30	19:21
宮本 Miyamoto	8:28	8:03	18:24	18:10	18:10	8:28	8:03	18:24	18:10	18:10	宮本 Miyamoto	7:09	8:36	16:11	15:32	19:21	20:09	8:49	17:10	17:32	19:21
高木上 Takagi-Ue	8:30	8:05	18:25	18:12	18:12	8:30	8:04	18:25	18:12	18:12	高木上 Takagi-Ue	7:11	8:39	16:11	15:33	19:22	20:11	8:51	17:11	17:33	19:22
高木下 Takagi-Shimo	8:32	8:06	18:26	18:13	18:13	8:32	8:06	18:26	18:13	18:13	高木下 Takagi-Shimo	7:13	8:41	16:13	15:34	19:22	20:13	8:53	17:13	17:34	19:22
とつか Totsuka	8:33	8:07	18:28	18:14	18:14	8:33	8:07	18:28	18:14	18:14	とつか Totsuka	7:14	8:43	16:15	15:35	19:23	20:14	8:55	17:15	17:35	19:23
電洋中島 Denryō-Nakajima	8:34	8:09	18:29	18:15	18:15	8:34	8:09	18:29	18:15	18:15	電洋中島 Denryō-Nakajima	7:16	8:45	16:17	15:36	19:23	20:16	8:57	17:17	17:36	19:23
電洋中島 Denryō-Nakajima	8:35	8:11	18:30	18:16	18:16	8:35	8:11	18:30	18:16	18:16	電洋中島 Denryō-Nakajima	7:18	8:47	16:19	15:37	19:24	20:18	8:59	17:19	17:37	19:24
電洋中島 Denryō-Nakajima	8:36	8:12	18:31	18:17	18:17	8:36	8:12	18:31	18:17	18:17	電洋中島 Denryō-Nakajima	7:19	8:49	16:21	15:38	19:24	20:19	9:01	17:21	17:38	19:24
電洋中島 Denryō-Nakajima	8:37	8:13	18:32	18:18	18:18	8:37	8:13	18:32	18:18	18:18	電洋中島 Denryō-Nakajima	7:20	8:51	16:23	15:39	19:25	20:21	9:03	17:23	17:39	19:25
電洋中島 Denryō-Nakajima	8:38	8:14	18:33	18:19	18:19	8:38	8:14	18:33	18:19	18:19	電洋中島 Denryō-Nakajima	7:22	8:53	16:25	15:40	19:25	20:23	9:05	17:25	17:40	19:25
電洋中島 Denryō-Nakajima	8:39	8:15	18:34	18:20	18:20	8:39	8:15	18:34	18:20	18:20	電洋中島 Denryō-Nakajima	7:23	8:55	16:27	15:41	19:26	20:25	9:07	17:27	17:41	19:26
電洋中島 Denryō-Nakajima	8:40	8:16	18:35	18:21	18:21	8:40	8:16	18:35	18:21	18:21	電洋中島 Denryō-Nakajima	7:24	8:57	16:29	15:42	19:26	20:27	9:09	17:29	17:42	19:26
電洋中島 Denryō-Nakajima	8:41	8:17	18:36	18:22	18:22	8:41	8:17	18:36	18:22	18:22	電洋中島 Denryō-Nakajima	7:26	8:59	16:31	15:43	19:27	20:29	9:11	17:31	17:43	19:27
電洋中島 Denryō-Nakajima	8:42	8:18	18:37	18:23	18:23	8:42	8:18	18:37	18:23	18:23	電洋中島 Denryō-Nakajima	7:28	9:01	16:33	15:44	19:27	20:31	9:13	17:33	17:44	19:27
電洋中島 Denryō-Nakajima	8:43	8:19	18:38	18:24	18:24	8:43	8:19	18:38	18:24	18:24	電洋中島 Denryō-Nakajima	7:29	9:03	16:35	15:45	19:28	20:33	9:15	17:35	17:45	19:28
電洋中島 Denryō-Nakajima	8:44	8:20	18:39	18:25	18:25	8:44	8:20	18:39	18:25	18:25	電洋中島 Denryō-Nakajima	7:31	9:05	16:37	15:46	19:28	20:35	9:17	17:37	17:46	19:28
電洋中島 Denryō-Nakajima	8:45	8:21	18:40	18:26	18:26	8:45	8:21	18:40	18:26	18:26	電洋中島 Denryō-Nakajima	7:32	9:07	16:39	15:47	19:29	20:37	9:19	17:39	17:47	19:29
電洋中島 Denryō-Nakajima	8:46	8:22	18:41	18:27	18:27	8:46	8:22	18:41	18:27	18:27	電洋中島 Denryō-Nakajima	7:34	9:09	16:41	15:48	19:29	20:39	9:21	17:41	17:48	19:29
電洋中島 Denryō-Nakajima	8:47	8:23	18:42	18:28	18:28	8:47	8:23	18:42	18:28	18:28	電洋中島 Denryō-Nakajima	7:36	9:11	16:43	15:49	19:30	20:41	9:23	17:43	17:49	19:30
電洋中島 Denryō-Nakajima	8:48	8:24	18:43	18:29	18:29	8:48	8:24	18:43	18:29	18:29	電洋中島 Denryō-Nakajima	7:38	9:13	16:45	15:50	19:30	20:43	9:25	17:45	17:50	19:30
電洋中島 Denryō-Nakajima	8:49	8:25	18:44	18:30	18:30	8:49	8:25	18:44	18:30	18:30	電洋中島 Denryō-Nakajima	7:40	9:15	16:47	15:51	19:31	20:45	9:27	17:47	17:51	19:31
電洋中島 Denryō-Nakajima	8:50	8:26	18:45	18:31	18:31	8:50	8:26	18:45	18:31	18:31	電洋中島 Denryō-Nakajima	7:42	9:17	16:49	15:52	19:31	20:47	9:29	17:49	17:52	19:31
電洋中島 Denryō-Nakajima	8:51	8:27	18:46	18:32	18:32	8:51	8:27	18:46	18:32	18:32	電洋中島 Denryō-Nakajima	7:44	9:19	16:51	15:53	19:32	20:49	9:31	17:51	17:53	19:32
電洋中島 Denryō-Nakajima	8:52	8:28	18:47	18:33	18:33	8:52	8:28	18:47	18:33	18:33	電洋中島 Denryō-Nakajima	7:46	9:21	16:53	15:54	19:32	20:51	9:33	17:53	17:54	19:32
電洋中島 Denryō-Nakajima	8:53	8:29	18:48	18:34	18:34	8:53	8:29	18:48	18:34	18:34	電洋中島 Denryō-Nakajima	7:48	9:23	16:55	15:55	19:33	20:53	9:35	17:55	17:55	19:33
電洋中島 Denryō-Nakajima	8:54	8:30	18:49	18:35	18:35	8:54	8:30	18:49	18:35	18:35	電洋中島 Denryō-Nakajima	7:50	9:25	16:57	15:56	19:33	20:55	9:37	17:57	17:56	19:33
電洋中島 Denryō-Nakajima	8:55	8:31	18:50	18:36	18:36	8:55	8:31	18:50	18:36	18:36	電洋中島 Denryō-Nakajima	7:52	9:27	16:59	15:57	19:34	20:57	9:39	17:59	17:57	19:34
電洋中島 Denryō-Nakajima	8:56	8:32	18:51	18:37	18:37	8:56	8:32	18:51	18:37	18:37	電洋中島 Denryō-Nakajima	7:54	9:29	17:01	15:58	19:34	20:59	9:41	18:01	17:58	19:34
電洋中島 Denryō-Nakajima	8:57	8:33	18:52	18:38	18:38	8:57	8:33	18:52	18:38	18:38	電洋中島 Denryō-Nakajima	7:56	9:31	17:03	15:59	19:35	21:01	9:43	18:03	17:59	19:35
電洋中島 Denryō-Nakajima	8:58	8:34	18:53	18:39	18:39	8:58	8:34	18:53	18:39	18:39	電洋中島 Denryō-Nakajima	7:58	9:33	17:05	16:00	19:35	21:03	9:45	18:05	18:00	19:35
電洋中島 Denryō-Nakajima	8:59	8:35	18:54	18:40	18:40	8:59	8:35	18:54	18:40	18:40	電洋中島 Denryō-Nakajima	7:59	9:35	17:07	16:01	19:36	21:05	9:47	18:07	18:01	19:36
電洋中島 Denryō-Nakajima	9:00	8:36	18:55	18:41	18:41	9:00	8:36	18:55	18:41	18:41	電洋中島 Denryō-Nakajima	8:01	9:37	17:09	16:02	19:36	21:07	9:49	18:09	18:02	19:36
電洋中島 Denryō-Nakajima	9:01	8:37	18:56	18:42	18:42	9:01	8:37	18:56	18:42	18:42	電洋中島 Denryō-Nakajima	8:03	9:39	17:11	16:03	19:37	21:09	9:51	18:11	18:03	19:37
電洋中島 Denryō-Nakajima	9:02	8:38	18:57	18:43	18:43	9:02	8:38	18:57	18:43	18:43	電洋中島 Denryō-Nakajima	8:05	9:41	17:13	16:04	19:37	21:11	9:53	18:13	18:04	19:37
電洋中島 Denryō-Nakajima	9:03	8:39	18:58	18:44	18:44	9:03	8:39	18:58	18:44	18:44	電洋中島 Denryō-Nakajima	8:07	9:43	17:15	16:05	19:38	21:13	9:55	18:15	18:05	19:38
電洋中島 Denryō-Nakajima	9:04	8:40	18:59	18:45	18:45	9:04	8:40	18:59	18:45	18:45	電洋中島 Denryō-Nakajima	8:09	9:45	17:17	16:06	19:38	21:15	9:57	18:17	18:06	19:38
電洋中島 Denryō-Nakajima	9:05	8:41	19:00	18:46	18:46	9:05	8:41	19:00	18:46	18:46	電洋中島 Denryō-Nakajima	8:11	9:47	17:19	16:07	19:39	21:17	9:59	18:19	18:07	19:39
電洋中島 Denryō-Nakajima	9:06	8:42	19:01	18:47	18:47	9:06	8:42	19:01	18:47	18:47	電洋中島 Denryō-Nakajima	8:13	9:49	17:21	16:08	19:39	21:19	10:01	18:21	18:08	19:39
電洋中島 Denryō-Nakajima	9:07	8:43	19:02	18:48	18:48	9:07	8:43	19:02	18:48	18:48	電洋中島 Denryō-Nakajima	8:15	9:51	17:23	16:09	19:40	21:21	10:03	18:23	18:09	19:40
電洋中島 Denryō-Nakajima	9:08	8:44	19:03	18:49	18:49	9:08	8:44	19:03	18:49	18:49	電洋中島 Denryō-Nakajima	8:17	9:53	17:25	16:10	19:40	21:23	10:05	18:25	18:10	19:40
電洋中島 Denryō-Nakajima	9:09	8:45	19:04	18:50	18:50	9:09	8:45	19:04	18:50	18:50	電洋中島 Denryō-Nakajima	8:19	9:55	17:27	16:11	19:41	21:25	10:07	18:27	18:11	19:41
電洋中島 Denryō-Nakajima	9:10	8:46	19:05	18:51	18:51	9:10	8:46	19:05	18:51	18:51	電洋中島 Denryō-Nakajima	8:21	9:57	17:29	16:12	19:41	21:27	10:09	18:29	18:12	19:41
電洋中島 Denryō-Nakajima	9:11	8:47	19:06	18:52	18:52	9:11	8:47	19:06	18:52	18:52	電洋中島 Denryō-Nakajima	8:23	9:59	17:31	16:13	19:42	21:29	10:11	18:31	18:13	19:42
電洋中島 Denryō-Nakajima	9:12	8:48	19:07	18:53	18:53	9:12	8:48	19:07	18:53	18:53	電洋中島 Denryō-Nakajima	8:25	10:01	17:33	16:14	19:42	21:31	10:13	18:33	18:14	19:42
電洋中島 Denryō-Nakajima	9:13	8:49	19:08	18:54	18:54	9:13	8:49	19:08	18:54	18:54	電洋中島 Denryō-Nakajima	8:27	10:03	17:35	16:15	19:43	21:33	10:15	18:35	18:15	19:43
電洋中島 Denryō-Nakajima	9:14	8:50	19:09	18:55	18:55	9:14	8:50	19:09	18:55	18:55	電洋中島 Denryō-Nakajima	8:29	10:05	17:37	16:16	19:43	21:35	10:17	18:37	18:16	19:43
電洋中島 Denryō-Nakajima	9:15	8:51	19:10	18:56	18																

磐田市デマンド型乗合タクシーの運行内容の変更について

デマンド型乗合タクシーの運行内容を下記のとおり変更するものとする。

記

1 指定施設の追加について

(1) 地区内施設

磐田東部地区の指定施設に「みくりやデンタルクリニック」を加える。

(2) 地区内施設の運賃

利用者宅区分	⇄	施設名	運賃（片道）
磐田東部地区	⇄	みくりやデンタルクリニック	400 円/人

(3) 実施時期

令和6年2月1日から

磐田市デマンド型乗合タクシー指定施設位置図（追加施設）

施設名 みくりやデンタルクリニック（磐田市新貝1丁目4番地5）

追加理由 開院のため

【位置図】



【写真】



磐田市デマンド型乗合タクシー（地域内フィーダー系統）の自己評価について

令和 5 年度（令和 4 年 10 月から令和 5 年 9 月）地域公共交通確保維持改善事業に関する磐田市デマンド型乗合タクシー（福田線・磐田中央線）の自己評価を別添のとおり定めるものとする。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

令和6年1月15日

協議会名： 磐田市地域公共交通会議

評価対象事業名： 地域内ライダーシステム確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回（又は類似事業）の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 （特記事項を含む）
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名・運行（航）区間、整備内容等を記載（陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けられている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助（調査検討の経費を除く。）を受けている場合は、その旨記載）】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A ・ B ・ C 評価	A ・ B ・ C 評価	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか（方向性又は具体的な内容）を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
①デマンド型乗合タクシー（福田線）	福田地区、磐田駅周辺地区及び磐田市立総合病院等の運行	デマンド型乗合タクシーの利用促進を図ることを目標として、前年比1.2の伸び率を目標値とした。運転免許証自主返納者等の高齢者に対し、警察署や地域包括支援センターと連携・協力して周知し、高齢者の移動手段として定着し、利用者が増加したことにより目標値を達成することができた。	計画のとおり事業は適切に実施された。 〈実施事業〉 ・高齢者サロン等での説明 ・広報紙及び市ホームページへの掲載	①デマンド型乗合タクシー（福田線） 〈目標値〉 1日あたりの利用者数 11.0人 交通結節点利用者数 189人 〈実績値〉 1日あたりの利用者数 13.1人 交通結節点利用者数 312人 ②デマンド型乗合タクシー（磐田中央線） 〈目標値〉 1日あたりの利用者数 40.4人 交通結節点利用者数 570人 〈実績値〉 1日あたりの利用者数 47.1人 交通結節点利用者数 699人	地域、警察署、福祉関係機関等と連携・協力して制度の周知拡大に努め利用促進を図る。 運行を持続可能なものにするため、目的地の追加などの利便性向上による改善とあわせて、運賃制度の見直しを検討する。
②デマンド型乗合タクシー（磐田中央線）	磐田中央地区及び磐田市立総合病院等の運行		A	A	

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和6年1月15日

協議会名：	磐田市地域公共交通会議
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	本市の公共交通は、6つの鉄道駅と磐田駅から放射線状に伸びる路線バス網、市内全域で運行しているデマンド型乗合タクシー及び一般タクシーで構成されている。また、デマンド型乗合タクシーは、鉄道及び路線バスに接続するフィーダー路線としての役割を果たすことにより、地域内はもとより地域間を結ぶ公共交通ネットワークが形成されている。 今後、さらに高齢化が進展する中で、誰もが地域で安心して暮らし続けることができるよう、行政、交通事業者、地域住民、関係機関が役割を分担し、相互に連携・協力しながら地域公共交通の確保・充実に取り組むことが必要である。

令和5年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価
(及び地域公共交通計画の評価結果) 概要 (全体)

磐田市地域公共交通会議

平成19年10月17日設置

フイーダー系統	令和4年3月10日	二次評価結果
	令和4年6月21日	計画策定
	令和4年10月1日～令和5年9月30日)	

直近の二次評価結果 (R4.3.10 中部運輸局)	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
公共交通計画の策定に向け、市民や高校生、高齢者等にニーズ調査や意識調査を行い、現状把握と課題の整理を計画どおりに行っていることを評価します。	市民や高校生、高齢者等にニーズ調査や意識調査を行い、現状把握と課題の整理をして、磐田市地域公共交通計画を策定した。	地域、警察署、福祉関係機関等と連携・協力して制度の周知拡大に努め利用促進を図る。
デマンド型乗合タクシーの周知啓発事業として、昨年度に引き続き、高齢者サロンでの説明や広報いわた・HPへの掲載を行ったことを評価します。	高齢者サロンでの説明や広報いわた・HPへの掲載により、利用促進を継続して実施した。	利便性向上のため、目的地の追加などを検討する。
今年度の調査結果を元に、持続可能な地域公共交通サービスを実現するための計画策定を期待します。	公共交通計画策定の際に調査した内容を検討する等、持続可能な地域公共交通サービスを実現ため公共交通会議に検討部会を設置した。	公共交通会議検討部会で、目的地の追加などの利便性向上とあわせて、運賃制度の見直しを検討する。
市内を運行する地域間幹線系統のうち輸送量が低迷している系統について、現状や問題意識を県・関係市町村・関係事業者と共有すると共に、当該系統の必要性に応じ、利用促進や系統維持に向け県や関係者と連携して取組を実施されるよう期待します。		

1 地域の特徴

磐田市は静岡県の西部に位置し、東は袋井市・森町、北・西は、浜松市とそれぞれ接し、南は遠州灘に面している。

補助対象地区である福田地区は市の南東部に位置し、南は遠州灘に面し、地区全域が低地となっている。また、磐田中央地区は市のほぼ中心部に位置し、磐田駅や市役所等の主要な公共施設が立地するまちの中心的地区である。

2 公共交通の現状及び目標

市内には2本の鉄道（JR東海道本線、天竜浜名湖鉄道）が通り、磐田駅・豊田町駅・御厨駅・敷地駅・豊岡駅・上野部駅の6つの鉄道駅がある。

路線バスは、近隣の浜松市・袋井市・森町と本市を結ぶ路線を含め7路線が運行されており、磐田駅を中心に放射線状に路線網が形成されている。また、市では、デマンド型乗合タクシーを運行しており、バス路線など既存の公共交通への乗り継ぎを図りつつ、通院や買い物などの日常生活に必要な移動手段としての役割を果たしている。

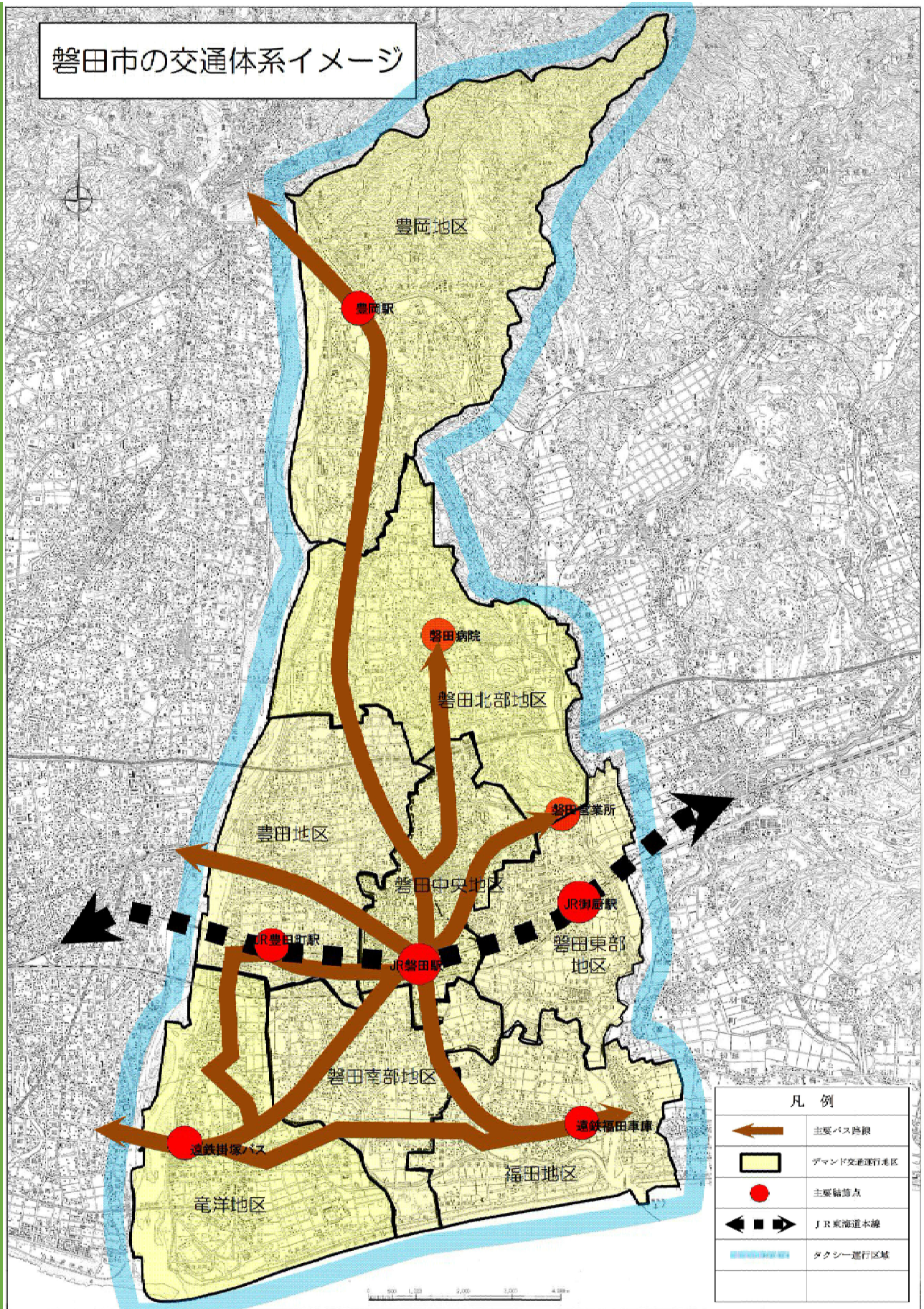
デマンド型乗合タクシーは、平成22年11月の導入以降、順次エリアを拡大し、福田線は平成24年10月、磐田中央線は平成28年1月から路線開設した。現在は市内全域を8路線にて運行している。

将来的な人口減少やさらなる高齢化が見込まれる中で、地域住民自らが公共交通の必要性について共通の認識を持ち、積極的に利用することで地域公共交通を支えとともに、市や交通事業者による利用促進策の実施や、誰もが使いやすい環境の整備により、持続性のある交通サービスとして確保・維持することを目標としている。

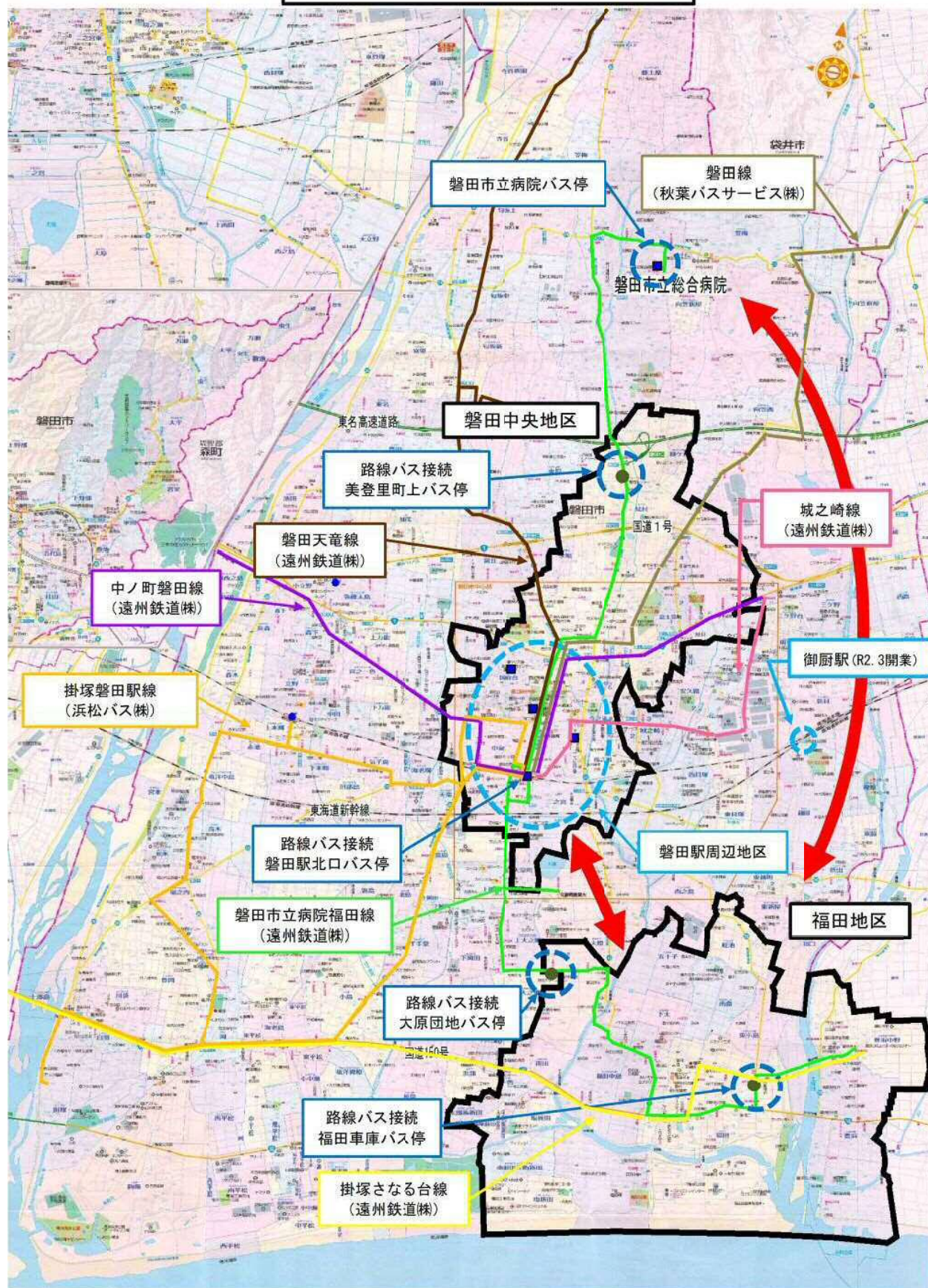
3 基礎データ（令和5年9月末現在）

人口：166,939人、高齢化率：29.3%、面積：163.45 km²

磐田市の交通体系イメージ



ネットワーク計画概要図



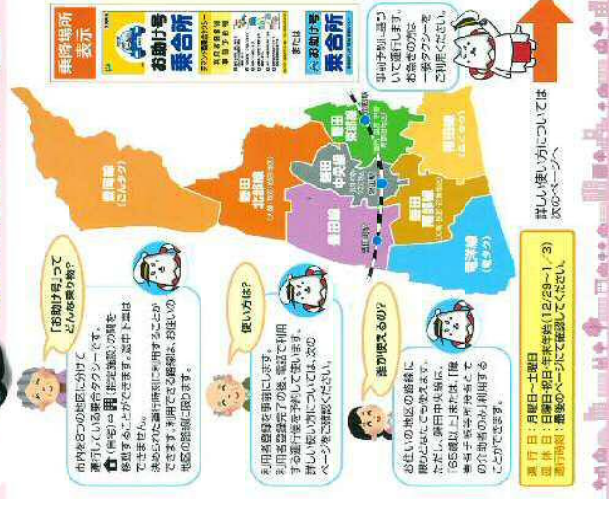
■ 当該年度実施した取り組み

1 啓発活動

- ・ 高齢者サロンでの制度周知
- ・ 磐田警察署の免許窓口での制度紹介
- ・ 地域と協力した制度周知と登録促進
- ・ 市ホームページや市広報紙への掲載
- ・ 作成した制度説明動画を市ホームページへの掲載
- ・ 高齢者に関係する機関と協力した制度周知と登録促進

2 運行内容の見直し・利用促進方策等の検討

- ・ 磐田市地域公共交通計画の策定に伴う基礎調査から利用実態を把握し、今後事業を維持していくために磐田市地域公共交通会議に検討部会を組織し、「利用者負担額と公費負担額の見直し」や「目的地の追加による利便性向上」等を検討する。
- ・ 運行事業者との情報共有を行う。



4. 計画の達成状況の評価指標とその結果 (Check)

7

< 福田線 >

※目標値は前年比1.1の伸び率を設定

指 標	計画策定時の現状 (R2.10～R3.9)	目標値 (R4.6計画策定)	前年度実績 (R3.10～R4.9)	今年度実績 (R4.10～R5.9)
1日あたり利用者数	9.2人	11.0人	9.3人	13.1人
交通結節点利用者	158人	189人	289人	312人

- ・ 地域、警察署、福祉関係機関等で制度の周知をしたことにより登録者数が247人増加し、1日あたりの利用者数が目標値を2.1人上回った。
- ・ 制度周知のための啓発活動の実施により利用者数が増加したことに比例し、交通結節点の利用者数も増加した。

< 磐田中央線 >

※目標値は前年比1.1の伸び率を設定

指 標	計画策定時の現状 (R2.10～R3.9)	目標値 (R4.6計画策定)	前年度実績 (R3.10～R4.9)	今年度実績 (R4.10～R5.9)
1日あたり利用者数	33.7人	40.4人	37.6人	47.1人
交通結節点利用者	475人	570人	555人	699人

- ・ 地域、警察署、福祉関係機関等で制度の周知をしたことにより登録者数が114人増加し、1日あたりの利用者数が目標値を6.7人上回った。
- ・ 制度周知のための啓発活動の実施により利用者数が増加したことに比例し、交通結節点の利用者数も増加した。

〈参考〉

『お助け号』利用状況（運行期間：令和4年10月～令和5年9月）

※上段網掛けは前年値

地区名	利用者数 (人/日)	交通結節点利用者数 (人)	乗合率 (人/車両台数)	全体利用者数 (人)
豊田地区	25.5	420	1.4	7,490
	28.0	511	1.6	8,191
磐田北部地区	4.7	203	1.2	1,372
	5.7	291	1.3	1,616
磐田東部地区	22.5	1,819	1.4	6,601
	23.8	1,636	1.4	6,980
磐田南部地区	14.2	526	1.4	4,161
	17.4	424	1.4	5,096
磐田中央地区	37.6	555	1.5	11,045
	47.1	699	1.7	13,800
竜洋地区	17.6	896	1.4	5,160
	20.9	1,181	1.4	6,132
福田地区	9.3	289	1.3	2,731
	13.1	312	1.5	3,826
豊岡地区	5.4	80	1.3	1,578
	7.4	80	1.4	2,082
合計	136.8	4,788	1.4	40,138
	163.4	5,134	1.5	47,723

■ 周知・啓発

制度内容の浸透により住民の認知度が高まってきているが、持続性のある交通サービスとして維持していくため、次の事業を実施して更なる利用促進を図る。

- 高齢者サロンなどでの制度周知
- 警察署と連携した制度周知
- 市ホームページや市広報誌への掲載
- 民生委員、地域包括支援センター、自治会連合会等を通じた制度周知
- 公共交通に関する講演会やシンポジウムなどの開催
- 持続可能な運行のための意見交換会・地域別説明会 など

■ 地域との協議

運行内容や利用促進を図る事項等について、地域づくり協議会、自治会、老人クラブ、民生児童委員、福祉関係団体、運行事業者などと協議する。

- 住民主体の制度説明会の開催 など

■ 運行内容の検討

磐田市地域公共交通計画の策定に伴う基礎調査から利用実態を把握し、運行を持続可能なものにするため、磐田市地域公共交通会議に設置した検討部会で目的地の追加などあわせて、運賃制度の見直しを検討する。

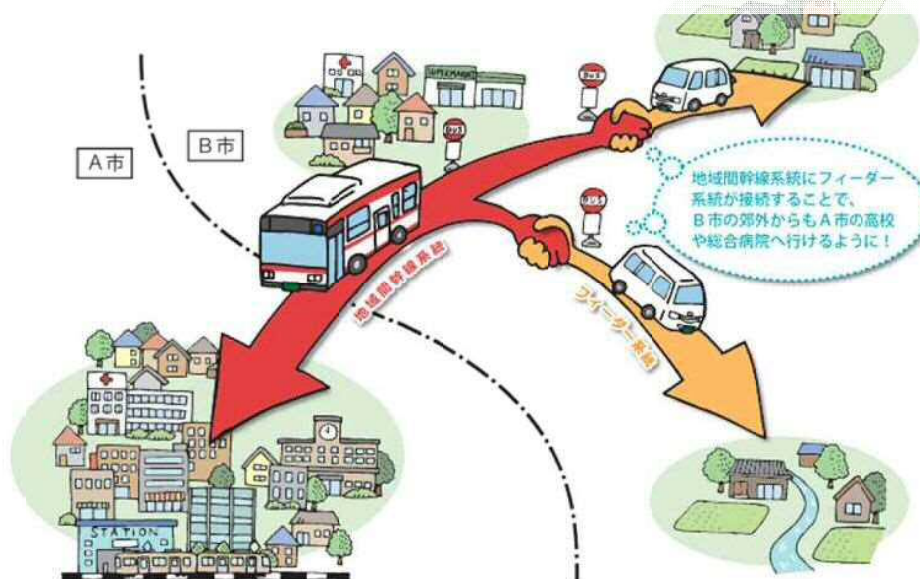
令和5年度 地域間幹線系統に関する事業評価

静岡県交通基盤部都市局地域交通課

富国有徳の理想郷ーしずおか
ふじのくに

地域間幹線系統とは

日常生活における通勤、通学、通院の流動実態等から、結びつきの強い市町の組み合わせを**交通圏**として設定。（出典：中部運輸局「中部の交通圏」）
圏内や圏域を跨ぐ**広域的な移動を支える**一つの手段が「**地域間幹線系統**」です。

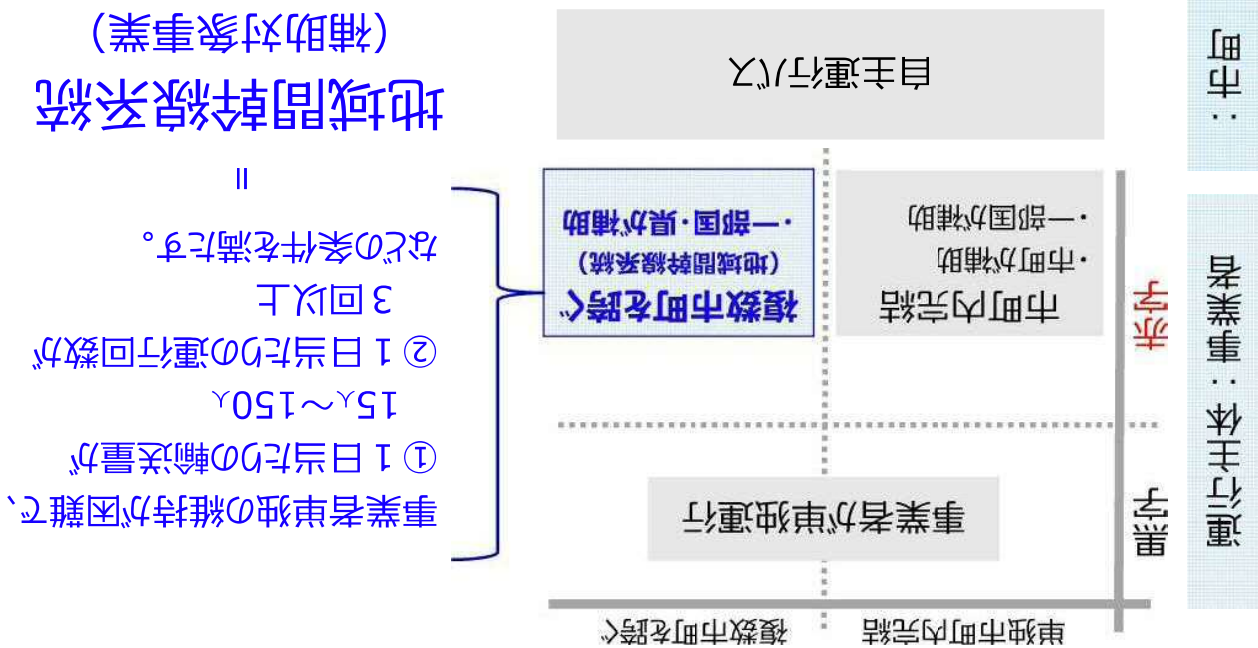


出典：地域間幹線バスが地域で役立つようにするために（監修：中部運輸局）

富国有徳の理想郷ーしずおか
ふじのくに

地域間幹線系統に係る国・県の補助対象事業

収支から見る乗合バス事業の全体像と幹線系統の位置付け



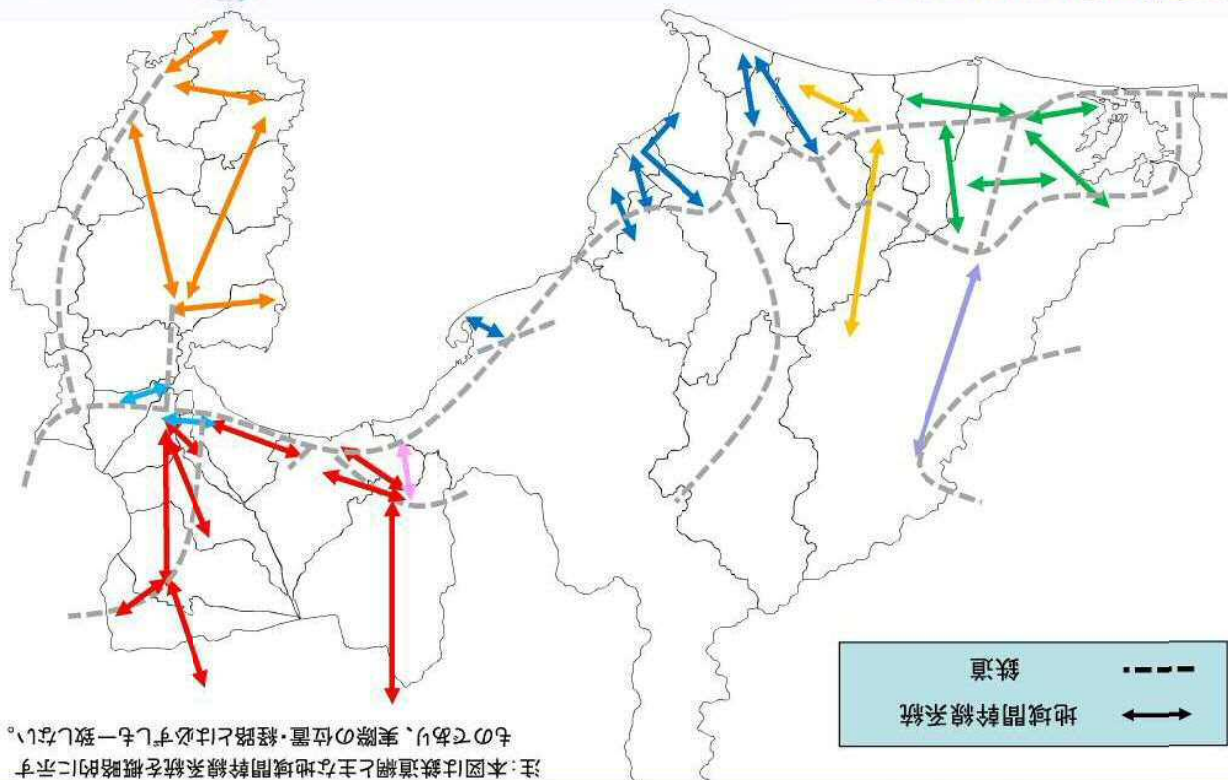
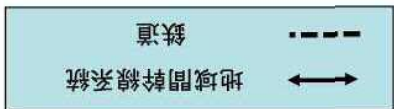
ふじのくに

富国・有徳の理想郷—しずおか

2

県内の地域間幹線系統(概略図)

注: 本図は鉄道網と主な地域間幹線系統を概略的に示すものであり、実際の位置・経路とは必ずしも一致しない。



静岡県

富国・有徳の美しい“ふじのくに”

3

地域間幹線系統の評価(なぜ評価を行うのか)

- 補助対象事業が適切に行われているか確認する
- 評価結果を分析し、事業改善に繋げる

→補助対象事業をより効果的、効率的に実施するため

(参考) 事業評価実施の根拠

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱

第3条

5 協議会※は、補助対象事業ごとに補助対象事業について評価を行い、その結果について地方運輸局又は地方航空局の長に報告しなければならない。

※本県においては静岡県生活交通確保対策協議会を指す。

静岡県の地域間幹線系統評価基準

次の項目を点数化し、合計点をA・B・Cで評価

項目	評価する内容	評価
①運行回数	計画値に対する実績値 計画数以上：3点 計画数未満：0点	計画数以上：3点 計画数未満：0点
②収支率	実績値 30%未満：0点（5%毎に3点加算） 55%以上：18点（満点）	30%未満：0点（5%毎に3点加算） 55%以上：18点（満点）
③乗車人員	計画値に対する実績値 5%超：6点、△5%以上5%未満：3点 △5%超：0点	5%超：6点、△5%以上5%未満：3点 △5%超：0点
④ネットワーク構成	鉄道等への乗換可能拠点数 鉄道駅及びバスターミナルでの結節：1箇所2点 その他のバス停での結節：1箇所1点	鉄道駅及びバスターミナルでの結節：1箇所2点 その他のバス停での結節：1箇所1点
⑤広域移動状況	市町を跨いで移動する人の割合 5%未満：0点（5%毎に5点加算） 20%以上：20点（満点）	5%未満：0点（5%毎に5点加算） 20%以上：20点（満点）
⑥キロ当たり経費	国が示す標準単価との比較 単価以上：0点（△5%毎に5点加算） △15%超：12点	単価以上：0点（△5%毎に5点加算） △15%超：12点
合計		A評価：52～79点 B評価：26～51点 C評価：0～25点

※詳細は別添

9

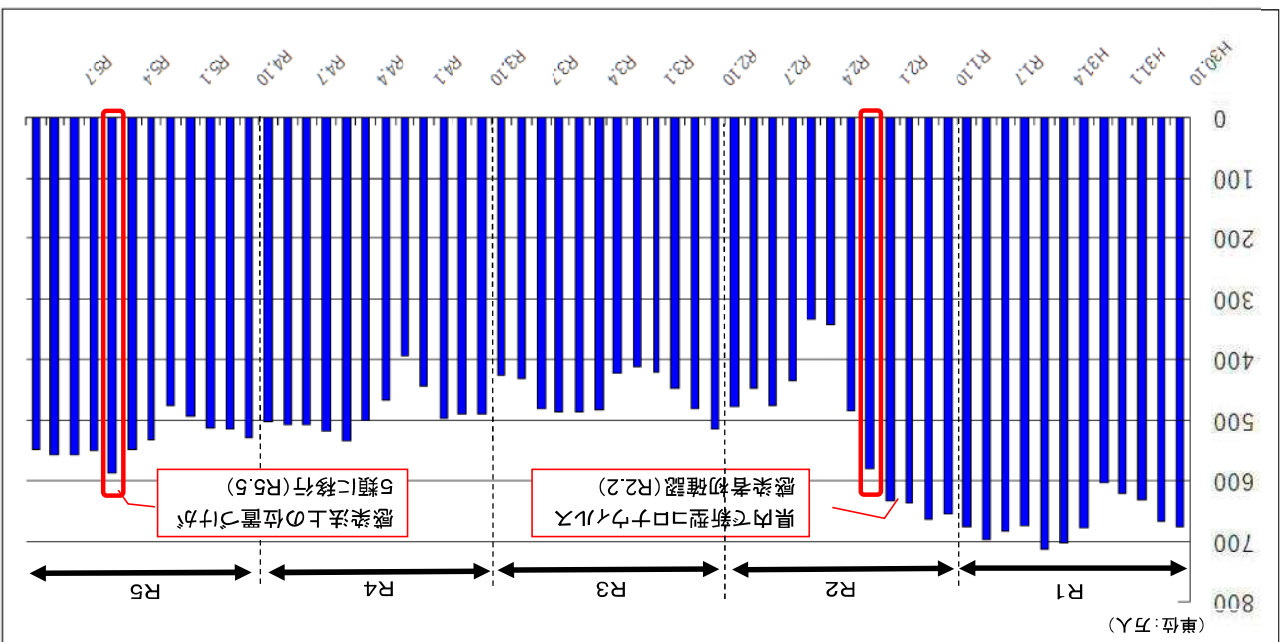
昨年度に比べ、11系統の評価が向上（平均点は3.1増加）

事業者名	系統名	R4 R5 比較
20	奥山線	A
21	志都呂字布見線	B
22	志都呂字布見線	B
23	鹿名線	B
24	掛坂さなる台線	A
25	三保草尾線	B
26	五十海大住線	B
27	藤津岡部線	B
28	藤枝青木線	A
29	島山静波線	B
30	島山静波線	A
31	藤枝相見線	B
32	菊川沼原線	B
33	掛川大東武岡線	B
34	掛川大東武岡線	A
35	掛川大東武岡線	B
36	御殿巻線	A
37	駿河小山線	A
38	十里木線	B
39	河口講線	A
40	河口講線	A
41	新富士線	B

 $\angle$

県内の乗合バス利用者の推移

(H30.10～R5.9)



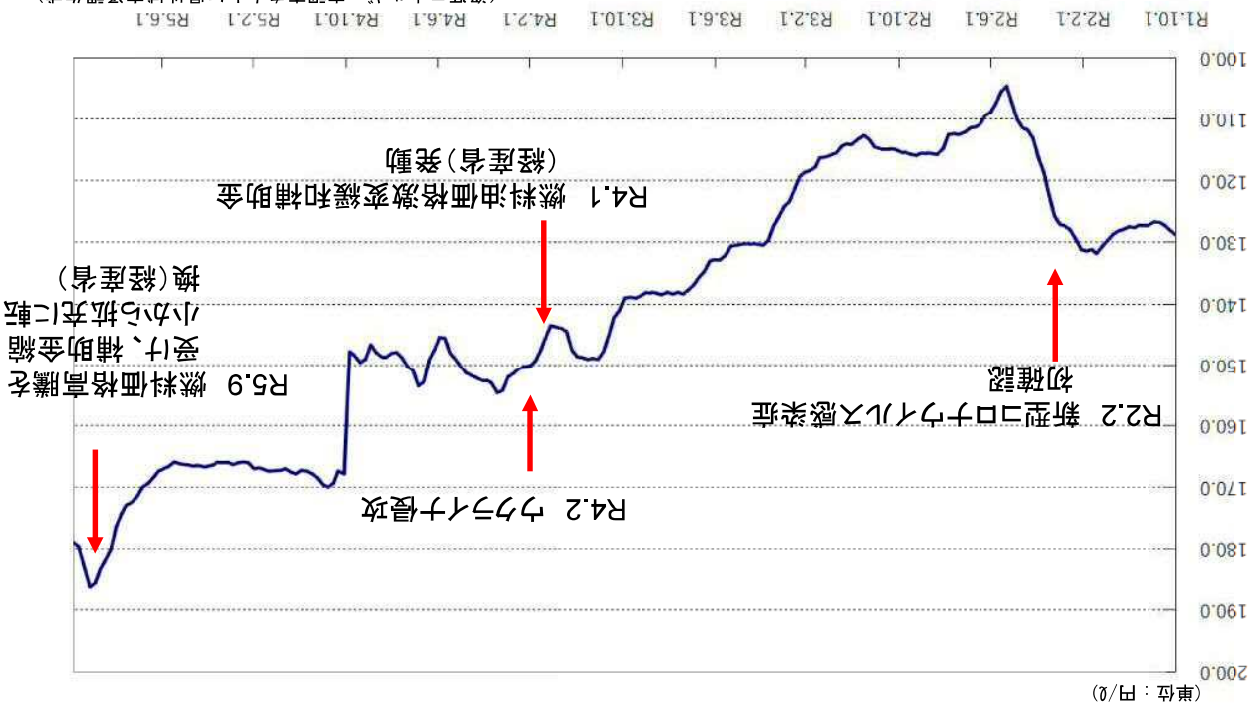
(静岡県地域交通調査)

8

富国有望の理想郷—しずおか
ふじのくに

■ 県内の軽油小売価格の推移 (R1.10～R5.9)

燃料価格など物価高騰の影響①



(資源エネルギー庁調査をもとに県地域交通調査作成)

9

富国有望の理想郷—しずおか
ふじのくに

燃料価格など物価高騰の影響②

■車両維持費の推移 (H30.1～R5.9)



事業者による取組の例

区分	事例
費用削減策	・エコドライブ取組強化期間の設定 ・デジタルコックピットを活用した指導で燃料費を抑制 ・燃料使用量の削減(車両搭載燃料を抑制) ・EVバスの導入による動力費の削減
利用促進策	・バスロケーションシステムの導入 ・スマホ定期券の販売を開始 ・キャッシュレス決済機器の導入 ・市町と連携したバスの乗り方教室の実施 ・HPの多言語化によるインバウンド客の利用促進

県内自治体による支援の事例

区分	事例
利用促進策	・公共交通利用券の配布 ・バスの日イベントの実施 ・バスロケーションシステム導入費用の補助 ・キャッシュレス決済機器導入費用の補助
物価高騰対策	・車両維持費への補助 ・燃料費高騰分の補助

令和５年度地域間幹線系統の事業評価結果（概要）

１ 事業評価の目的

事業評価は、静岡県生活交通確保対策協議会が定めた静岡県地域間幹線系統確保維持計画に位置づけられた補助対象系統について、事業の実施状況の確認や目標の達成状況等の評価を行い、市町が開催する地域公共交通会議等における評価内容に対する議論・検討の活性化や広く県民に内容を公表することによる理解の促進など、補助対象事業が効果的、効率的に実施されることを目的として実施している。

２ 評価項目

項 目		内 容
(点数無) 前提事項	主な運行目的	利用実態等を含めた当該系統の運行目的
	増収策	路線維持のための増収策
	費用削減策	路線維持のための費用削減策
評価事項	運行回数	計画運行回数に対する実績運行回数を評価(３点満点)
	収支率	実績値を評価(収支率 55%以上満点)
	乗車人員	計画値に対する実績値を評価(+５%以上満点)
	ネットワーク構成	鉄道等への乗換可能な拠点数を評価(上限 20 点)
	広域トリップ状況	バス利用者の市町を跨ぐ移動割合を評価(20%以上満点)
	キロ当たり経費	国上限単価と事業者単価を比較(国単価比-20%超満点)
	拠点等アクセス状況	バス停から半径 500m 以内の拠点施設を記載(評価点無)

【各項目に評価点を設定し、合計点に応じて以下のとおり評価】

評 価	内 容
A (52～79 点)	地域間幹線系統として優れた役割を果たしている
B (26～51 点)	地域間幹線系統として適した運行となっている
C (0～25 点)	地域間幹線系統として改善に努力を要する

３ 事業評価結果の概要

全体評価：B（参考：R3：B、R4：B、R5：A）

- ・評価対象系統全 62 系統中、A評価：37 系統、B評価：25 系統、C評価：0 系統
- ・平均点数が 52.1 点（R4 比+3.1 点）であることから、全体評価を『A』とした。
- ・各系統の評価結果は別添「令和５年度地域間幹線系統総合評価一覧表」のとおり。

令和5年度地域間幹線系統総合評価一覧表

事業者名	系統名	評価項目① 運行回数 満点3点	評価項目② 収支率 満点18点	評価項目③ 乗車人員 満点6点	評価項目④ ネットワーク 満点20点	評価項目⑤ 広域トリップ 満点20点	評価項目⑥ キロ当たり経費 満点12点	点数 (A:52～79) (B:26～51) (C: ～25)	評価			事業者 平均	全体評価
山梨交通	1 富士宮駅・オオノ・星山台・蒲原病院線	3	3	3	3	6	20	38				1	38.0
	2 秋葉線(袋井駅前～蓬洲森町～気多)	0	6	3	3	11	20	12	○				
	3 秋葉中遠線(袋井駅前～袋井市民病院～蓬州森町)	3	15	11	6	11	20	12	○				
	4 秋葉中遠線(大東支所～新機須賀・新岡崎～袋井駅南口)	3	9	3	3	6	20	12	○			4	57.5
	5 秋葉中遠線(機須賀車庫～新岡崎～袋井駅南口)	0	15	6	6	5	20	12	○				
	6 浜北區大三方原線	0	9	6	6	17	20	3	○				
遠州鉄道	7 磐田市立病院福田線(磐田市立病院～磐田駅～豊浜郵便局)	0	18	6	6	7	20	3	○				
	8 中川磐田線(浜松駅～中川～磐田営業所)	3	18	6	9	9	10	3		○			
	9 秋葉線(春野車庫～西原島駅～厚生会)	0	3	0	7	20	3	33		○			
	10 磐田天竜線(山更～新岡～磐田駅)	0	18	6	8	20	3	55		○			
	11 磐田天竜線(らぼーと終田)	0	12	3	8	20	3	46		○			
	12 掛塚さなる台線(浜松駅～掛塚～豊浜郵便局)	0	18	6	9	9	20	3	○				
	13 内野台線(内野台車庫)	0	18	3	10	20	3	54		○			
	14 内野台線(サンスリート浜北)	3	18	6	10	20	3	60		○		19	52.3
	15 磐田市立病院福田線(磐田駅南口～豊浜郵便局)	0	12	6	5	20	3	46		○			
	16 引佐線	0	18	6	20	20	3	67		○			
	17 萩丘郡田線	3	18	6	10	15	3	55		○			
	18 大塚ひとかけ丘線	0	18	6	13	0	3	40		○			
	19 気賀三ヶ日線	0	18	6	15	20	3	62		○			
	20 奥山線	3	18	6	14	20	3	64		○			
	21 志都呂宇布見線(浜松駅～つるが丘入口～山崎)	0	18	6	7	15	3	49					
	22 志都呂宇布見線(浜松駅～堀出橋～舞阪駅)	3	18	6	8	10	3	48		○			
	23 浜名線	3	18	6	8	5	3	43		○			
	24 掛塚さなる台線(浜松駅～芳川～掛塚)	3	18	6	8	20	3	58		○			
	25 三保草刈線	3	12	0	9	5	0	29		○			
	26 五十海大住線	3	9	3	7	20	0	42		○			
	27 焼津岡部線	3	12	6	5	20	0	46		○			
しずてつジャストライン	28 麻枝吉永線	3	15	0	8	20	0	46		○			
	29 島田静波線(島田駅前～静波海岸入口)	3	6	3	9	20	0	41		○		11	43.4
	30 島田静波線(島田市立総合医療センター～島田駅前～静波海岸入口)	3	6	6	13	20	0	48		○			
	31 藤枝相良線	3	9	6	12	20	0	50		○			
	32 菊川浜岡線	3	15	6	4	20	0	48		○			
	33 掛川大東浜岡線(掛川駅前～浜岡営業所)	3	3	0	7	20	0	33		○			
	34 掛川大東浜岡線(中東連絡医療センター～浜岡営業所)	3	18	3	9	20	0	53		○			
	35 掛川大東浜岡線(掛川駅前～大東支所)	3	12	3	4	20	0	42		○			
	36 御殿場線	3	18	6	14	20	0	61		○			
	37 駿河小山線	3	15	6	11	20	0	55		○			
	38 十里木線	3	12	6	8	20	0	49		○			
富士急モビリティ	39 河口湖線	3	18	6	17	20	0	64		○			
	40 河口湖線	3	18	6	17	20	0	64		○		4	57.2
	41 新富士線	3	12	6	17	20	0	58				2	61.0
	42 曽比奈線	3	18	6	8	20	6	61		○			
富士急静岡バス	43 大洲線	3	18	3	10	20	6	60				4	61.5
	44 大月線(吉原中央駅～富士宮駅)	3	18	3	10	20	6	60		○			
	45 大月線(新富士駅～静岡県富士山世界遺産センター)	3	18	6	12	20	6	65		○			
	46 駿河平線	0	18	6	11	20	0	55		○			
富士急シティバス	47 須山線(三島駅～須山)	0	12	3	12	20	0	47		○			
	48 原線	0	18	6	10	20	0	39		○		6	49.0
	49 桜庭線	0	18	3	7	20	0	48		○			
	50 がんせんター線(沼津駅～がんせんター)	3	18	6	6	20	0	53		○			
伊豆箱根バス	51 がんせんター線(三島駅～がんせんター)	0	18	6	8	20	0	52		○			
	52 大場西南線	3	9	6	7	20	3	48				4	53.7
	53 沼津大岡三島線	3	18	6	11	20	3	61		○			
	54 長岡伊豆三津シーパラダイス線	3	18	3	7	20	3	54		○			
東海バス	55 沼津静瀬長岡線	3	18	6	7	15	3	52		○			
	56 石廊崎線	3	12	6	7	20	6	54		○			
	57 天城峠線	3	12	6	15	20	6	62		○			
	58 戸田線	3	15	6	7	20	6	57		○		6	58.5
	59 西海線	3	12	0	11	20	6	52		○			
	60 バサラ峠線(下田駅～堂ヶ島)	3	12	6	13	20	6	60		○			
水窪タクシー	61 バサラ峠線(下田駅～宇久須)	3	18	6	13	20	6	66		○		1	33.0
	62 北濃本線	0	0	3	13	5	12	33		○			
計								52.1	37	25	0	62	平均

【全体評価の理由】

- ・全62系統中37系統がA評価である。
- ・平均評価点数が52.1点である。

地域間幹線系統確保維持計画系統別評価シート

2

(様式1)

事業者名

遠州鉄道株式会社

系統名(起点～経由地～終点)

磐田市立病院福田線(磐田市立病院～磐田駅～豊浜郵便局)

計画策定年度

令和4年度

運行期間

R4.10.1～R5.9.30

評価年度

令和5年度

(1) 基本的事項

項目	基準	計画 (目標)	運行実績 (内容)	評価	備考
主な運行目的	事業者記載事項	—	別紙	A	A: 運行目的どおり適切に実施 B: 減便・系統短縮等、運行目的どおり実施されていない点があった C: 運行目的どおり実施されなかった(路線廃止)
増収策	事業者計画と実績を比較	—	別紙	有	事業者ごとの取組を記載
費用削減策	事業者計画と実績を比較	—	別紙	有	事業者ごとの取組を記載

(2) 各項目の評価

項目	評価基準	計画 (目標)	運行実績 (内容)	評価 点数	評価	備考
運行回数	年間計画運行回数と実績運行回数を比較	(2128.5)回 (5.8回/日)	(2126.5)回 (6.1回/日)	0	計画数以上 3点 計画数未満 0点 (国土交通大臣が認める除外運行回数は除く)	計画(目標)は表2記載のもの
収支率	計画値に対する実績値	50.8%	57.0%	18	～29% 0点 30～34% 3点 35～39% 6点 40～44% 9点 45～49% 12点 50～54% 15点 55%～ 18点	
乗車人員	計画人員と実績人員を比較	85,690人	96,148人	6	5%超 6点 ▲5%以上5%以内 3点 ▲5%超 0点	
ネットワーク構成	他の系統の乗換可能なアクセス拠点(バス停等)の数	—	拠点(1)箇所 バス停(5)箇所	7	拠点(駅・BT): 1箇所2点 乗換可能なバス停: 1箇所1点 上限20点	主な拠点及びバス停を別紙に記載
広域トリップ状況	市町跨ぎの移動割合(H13.3.31現在の市町)(運行実績による)	—	29.50%	20	～4% 0点 5～9% 5点 10～14% 10点 15～19% 15点 20%～ 20点	
公共施設・拠点施設アクセス状況	評価対象外 (バス停から半径500m以内に存在する学校(小・中・高・大・専門学校)病院(主なもので可)拠点商業施設・企業(主なもので可)その他(官公庁・駅等))	—	磐田南高 磐田北小 磐田市役所 磐田市福田支所 新都市病院 磐田市立病院 JR磐田駅		—	
キロ当たり経費	補助対象年度の前年度の地域キロ当たり経常費用単価(静岡・山梨ブロック)との比較	—	424.34円	3	単価を上回った 0点 単価～▲5% 3点 単価▲6～▲10% 6点 単価▲11～▲15% 9点 単価▲16～▲20%超 12点	
合計				54	評価指標	A

A(52～79点): 地域間幹線系統として優れた役割を果たしている
B(26～51点): 地域間幹線系統として適した運行となっている
C(～25点): 地域間幹線系統として改善に努力を要する

地域間幹線系統確保維持計画系統別評価シート(別紙)

(1) 基本的事項

項 目	内 容
主な運行目的	旧福田町から磐田駅を経由し、磐田市立病院へと至る路線。代替の交通機関もないため、地域住民の通勤、通学及び通院の手段として、欠かせない路線となっており、路線の維持とともに輸送量15人の確保を目標とする。
増収策	●事業者としての取組 【計画】 ①運賃箱から取得されるバス of 全運行データを活用して現況を把握し、旅客動向に応じたダイヤを作成。 ②グループ共通ポイントカードと連携して、ICカード乗車券のオートチャージ(自動積み増し)の利用を促進。 ③高齢の免許返納者向けに、格安の全線定期券の販売を強化。 ④定期券の継続購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口へ設置した発券機にて定期券を発行するサービスを促進。 ⑤定期券の新規購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口での受け渡しのほか配送でご自宅や最寄りコンビニエンスストアへ届けるサービスを開始。 ⑥大手私鉄が提供するスマートフォン用MaaSアプリにおいて、デジタルフリー乗車券を販売開始。 【実績】 ①旅客動向の分析を行い、令和4年10月と令和5年4月にダイヤ改正を実施。 ②ICカード乗車券のオートチャージ(自動積み増し)の利用を促進。 ③高齢の免許返納者向けに、格安の全線定期券の販売を実施。 ④定期券の継続購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口へ設置した発券機にて定期券を発行するサービスを展開。 ⑤定期券の新規購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口での受け渡しのほか配送でご自宅や最寄りコンビニエンスストアへ届けるサービスを展開。 ⑥大手私鉄が提供するスマートフォン用MaaSアプリにおいて、デジタルフリー乗車券を販売。
費用削減策	●事業者としての取組 【計画】 ①デジタルタコグラフのデータを使って、個人毎の運転特性を把握して、適切な指導を行うことで有責事故防止や燃料費抑制を図る。 ②営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 ③60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。 【実績】 ①デジタルタコグラフから得られたデータを、半自動的に加工するソフトを活用して分析を行い、その結果を使って運転方法の指導を実施。燃料費の削減や有責事故の撲滅に努めた。 ②営業所再編や営業日変更を実施して、人件費抑制に努めた。 (R2年10月) 雄踏営業所と館山寺営業所を統合し浜松西営業所として再編。 天竜営業所を浜松東営業所の管轄車庫として再編。天竜営業所管轄の春野車庫を廃止。 (R3年2月) ターミナル営業所を廃止し、ターミナル営業所管轄の松江町車庫を浜松東営業所の管轄車庫として再編。 (R3年4月) 浜松南営業所を磐田営業所の管轄車庫として再編。 R2年9月時点…営業所9箇所 車庫16箇所 → R4年9月時点…営業所5箇所 車庫18箇所(R4年10月:伊平車庫、中田島車庫閉鎖、中川車庫新設) (R3年5月) 浜松駅/バスターミナル窓口を毎日営業から水曜日定休に運用変更 (R4年12月)磐田整備センターの窓口業務終了 (R5年1月)整備センターの窓口営業時間の短縮 9:00～17:50 → 9:30～17:00 ③乗務員交番作成をAIを使用し自動化することで、間接人件費の抑制と効率的な運用を実現した。

(2) 各項目の評価

項 目	内 容
ネットワーク構成	(主な乗換え拠点・バス停) 【拠点】 磐田駅 【バス停】 西坂町・加茂川・新道・前嶋・福田車庫
公共施設 拠点施設 アクセス状況	(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設) 磐田南高・磐田北小・磐田市役所・磐田市福田支所・新都市病院・磐田市立病院・JR磐田駅

地域間幹線系統確保維持計画系統別評価シート

3

(様式1)

事業者名		遠州鉄道株式会社			
系統名(起点～経由地～終点)		中ノ町磐田線(浜松駅～中ノ町～磐田営業所)			
計画策定年度	令和4年度	運行期間	R4.10.1～R5.9.30	評価年度	令和5年度

(1) 基本的事項

項目	基準	計画 (目標)	運行実績 (内容)	評価	備考
主な運行目的	事業者記載事項	—	別紙	A	A: 運行目的どおり適切に実施 B: 減便・系統短縮等、運行目的どおり実施されていない点があった C: 運行目的どおり実施されなかった(路線廃止)
増収策	事業者計画と実績を比較	—	別紙	有	事業者ごとの取組を記載
費用削減策	事業者計画と実績を比較	—	別紙	有	事業者ごとの取組を記載

(2) 各項目の評価

項目	評価基準	計画 (目標)	運行実績 (内容)	評価 点数	評価	備考
運行回数	年間計画運行回数と実績運行回数を比較	(4927.5)回 (13.5回/日)	(5048.5)回 (13.8回/日)	3	計画数以上 3点 計画数未満 0点 (国土交通大臣が認める除外運行回数は除く)	計画(目標)は表2記載のもの
収支率	計画値に対する実績値	61.4%	67.8%	18	～29% 0点 30～34% 3点 35～39% 6点 40～44% 9点 45～49% 12点 50～54% 15点 55%～ 18点	
乗車人員	計画人員と実績人員を比較	262,770人	290,160人	6	5%超 6点 ▲5%以上5%以内 3点 ▲5%超 0点	
ネットワーク構成	他の系統の乗換可能なアクセス拠点(バス停等)の数	—	拠点(2)箇所 バス停(5)箇所	9	拠点(駅・BT): 1箇所2点 乗換可能なバス停: 1箇所1点 上限20点	主な拠点及びバス停を別紙に記載
広域トリップ状況	市町跨ぎの移動割合(H13.3.31現在の市町)(運行実績による)	—	11.90%	10	～4% 0点 5～9% 5点 10～14% 10点 15～19% 15点 20%～ 20点	
公共施設・拠点施設アクセス状況	評価対象外 (バス停から半径500m以内に存在する学校(小・中・高・大・専門学校)病院(主なもので可)拠点商業施設・企業(主なもので可)その他(官公庁・駅等))	—	西遠学園 磐田西高 磐田南高 中ノ町小学校 磐田西小 磐田市役所 JR浜松駅 JR磐田駅		—	
キロ当たり経費	補助対象年度の前年度の地域キロ当たり経常費用単価(静岡・山梨ブロック)との比較	—	424.34円	3	単価を上回った 0点 単価～▲5% 3点 単価▲6～▲10% 6点 単価▲11～▲15% 9点 単価▲16～▲20%超 12点	
合計				49	評価指標	B

A(52～79点): 地域間幹線系統として優れた役割を果たしている
B(26～51点): 地域間幹線系統として適した運行となっている
C(～25点): 地域間幹線系統として改善に努力を要する

地域間幹線系統確保維持計画系統別評価シート(別紙)

(1) 基本的事項

項 目	内 容
主な運行目的	浜松駅から旧豊田町、磐田駅を経由し、磐田市東部に至る路線。代替の交通機関もないため、地域住民の通勤、通学の手段としての他、JR駅への接続の手段として欠かせない路線となっており、路線の維持とともに輸送量15人の確保を目標とする。
増収策	●事業者としての取組 【計画】 ①運賃箱から取得されるバス of 全運行データを活用して現況を把握し、旅客動向に応じたダイヤを作成。 ②グループ共通ポイントカードと連携して、ICカード乗車券のオートチャージ(自動積み増し)の利用を促進。 ③高齢の免許返納者向けに、格安の全線定期券の販売を強化。 ④定期券の継続購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口へ設置した発券機にて定期券を発行するサービスを促進。 ⑤定期券の新規購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口での受け渡しのほか配送でご自宅や最寄りコンビニエンスストアへ届けるサービスを開始。 ⑥大手私鉄が提供するスマートフォン用MaaSアプリにおいて、デジタルフリー乗車券を販売開始。 【実績】 ①旅客動向の分析を行い、令和4年10月と令和5年4月にダイヤ改正を実施。 ②ICカード乗車券のオートチャージ(自動積み増し)の利用を促進。 ③高齢の免許返納者向けに、格安の全線定期券の販売を実施。 ④定期券の継続購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口へ設置した発券機にて定期券を発行するサービスを展開。 ⑤定期券の新規購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口での受け渡しのほか配送でご自宅や最寄りコンビニエンスストアへ届けるサービスを展開。 ⑥大手私鉄が提供するスマートフォン用MaaSアプリにおいて、デジタルフリー乗車券を販売。
費用削減策	●事業者としての取組 【計画】 ①デジタルタコグラフのデータを使って、個人毎の運転特性を把握して、適切な指導を行うことで有責事故防止や燃料費抑制を図る。 ②営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 ③60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。 【実績】 ①デジタルタコグラフから得られたデータを、半自動的に加工するソフトを活用して分析を行い、その結果を使って運転方法の指導を実施。燃料費の削減や有責事故の撲滅に努めた。 ②営業所再編や営業日変更を実施して、人件費抑制に努めた。 (R2年10月) 雄踏営業所と館山寺営業所を統合し浜松西営業所として再編。 天竜営業所を浜松東営業所の管轄車庫として再編。天竜営業所管轄の春野車庫を廃止。 (R3年2月) ターミナル営業所を廃止し、ターミナル営業所管轄の松江町車庫を浜松東営業所の管轄車庫として再編。 (R3年4月) 浜松南営業所を磐田営業所の管轄車庫として再編。 R2年9月時点…営業所9箇所 車庫16箇所 → R4年9月時点…営業所5箇所 車庫18箇所(R4年10月:伊平車庫、中田島車庫閉鎖、中川車庫新設) (R3年5月) 浜松駅/バスターミナル窓口を毎日営業から水曜日定休に運用変更 (R4年12月) 磐田整備センターの窓口業務終了 (R5年1月) 整備センターの窓口営業時間の短縮 9:00～17:50 → 9:30～17:00 ③乗務員交番作成をAIを使用し自動化することで、間接人件費の抑制と効率的な運用を実現した。

(2) 各項目の評価

項 目	内 容
ネットワーク構成	(主な乗換え拠点・バス停) 【拠点】 浜松駅/バスターミナル・磐田駅 【バス停】 広小路・子安・磐田石原・加茂川・磐田営業所
公共施設 拠点施設 アクセス状況	(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設) 西遠学園・磐田西高・磐田南高・中ノ町小学校・磐田西小・磐田市役所・JR浜松駅・JR磐田駅

事業者名		遠州鉄道株式会社			
系統名(起点～経由地～終点)		磐田天竜線(山東～新開～磐田駅)			
計画策定年度	令和4年度	運行期間	R4.10.1～R5.9.30	評価年度	令和5年度

(1) 基本的事項

項目	基準	計画 (目標)	運行実績 (内容)	評価	備考
主な運行目的	事業者記載事項	—	別紙	B	A: 運行目的どおり適切に実施 B: 減便・系統短縮等、運行目的どおり実施されていない点があった C: 運行目的どおり実施されなかった(路線廃止)
増収策	事業者計画と実績を比較	—	別紙	有	事業者ごとの取組を記載
費用削減策	事業者計画と実績を比較	—	別紙	有	事業者ごとの取組を記載

(2) 各項目の評価

項目	評価基準	計画 (目標)	運行実績 (内容)	評価 点数	評価	備考
運行回数	年間計画運行回数と実績運行回数を比較	(1824.0)回 (4.9回/日)	(1821.0)回 (4.9回/日)	0	計画数以上 3点 計画数未満 0点 (国土交通大臣が認める除外運行回数は除く)	計画(目標)は表2記載のもの
収支率	計画値に対する実績値	53.9%	63.7%	18	～29% 0点 30～34% 3点 35～39% 6点 40～44% 9点 45～49% 12点 50～54% 15点 55%～ 18点	
乗車人員	計画人員と実績人員を比較	61,130人	72,244人	6	5%超 6点 ▲5%以上5%以内 3点 ▲5%超 0点	
ネットワーク構成	他の系統の乗換可能なアクセス拠点(バス停等)の数	—	拠点(2)箇所 バス停(4)箇所	8	拠点(駅・BT): 1箇所2点 乗換可能なバス停: 1箇所1点 上限20点	主な拠点及びバス停を別紙に記載
広域トリップ状況	市町跨ぎの移動割合(H13.3.31現在の市町)(運行実績による)	—	73.40%	20	～4% 0点 5～9% 5点 10～14% 10点 15～19% 15点 20%～ 20点	
公共施設・拠点施設アクセス状況	評価対象外 (バス停から半径500m以内に存在する学校(小・中・高・大・専門学校)病院(主なもので可)拠点商業施設・企業(主なもので可)その他(官公庁・駅等))	—	天竜高校 磐田農業高校 磐田南高 磐田西小 磐田市役所 中遠総合庁舎 磐田市立中央図書館 天竜区役所 JR磐田駅 遠鉄西鹿島駅 天浜豊岡駅 天浜二俣駅		—	
キロ当たり経費	補助対象年度の前年度の地域キロ当たり経常費用単価(静岡・山梨ブロック)との比較	—	424.34円	3	単価を上回った 0点 単価～▲5% 3点 単価▲6～▲10% 6点 単価▲11～▲15% 9点 単価▲16～▲20%超 12点	
合計				55	評価指標	A

A(52～79点): 地域間幹線系統として優れた役割を果たしている
B(26～51点): 地域間幹線系統として適した運行となっている
C(～25点): 地域間幹線系統として改善に努力を要する

地域間幹線系統確保維持計画系統別評価シート(別紙)

(1) 基本的事項

項 目	内 容
主な運行目的	旧天竜市中心部と磐田市中心部を結ぶ路線。代替の交通機関もないため、地域住民の通勤、通学及び日中の移動の手段として、欠かせない路線となっており、路線の維持とともに輸送量15人の確保を目標とする。
増収策	●事業者としての取組 【計画】 ①運賃箱から取得されるバス全運行データを活用して現況を把握し、旅客動向に応じたダイヤを作成。 ②グループ共通ポイントカードと連携して、ICカード乗車券のオートチャージ(自動積み増し)の利用を促進。 ③高齢の免許返納者向けに、格安の全線定期券の販売を強化。 ④定期券の継続購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口へ設置した発券機にて定期券を発行するサービスを促進。 ⑤定期券の新規購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口での受け渡しのほか配送でご自宅や最寄りコンビニエンスストアへ届けるサービスを開始。 ⑥大手私鉄が提供するスマートフォン用MaaSアプリにおいて、デジタルフリー乗車券の販売開始。 【実績】 ①旅客動向の分析を行い、令和4年10月と令和5年4月にダイヤ改正を実施。 ②ICカード乗車券のオートチャージ(自動積み増し)の利用を促進。 ③高齢の免許返納者向けに、格安の全線定期券の販売を実施。 ④定期券の継続購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口へ設置した発券機にて定期券を発行するサービスを展開。 ⑤定期券の新規購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口での受け渡しのほか配送でご自宅や最寄りコンビニエンスストアへ届けるサービスを展開。 ⑥大手私鉄が提供するスマートフォン用MaaSアプリにおいて、デジタルフリー乗車券の販売。
費用削減策	●事業者としての取組 【計画】 ①デジタルタコグラフのデータを使って、個人毎の運転特性を把握して、適切な指導を行うことで有責事故防止や燃料費抑制を図る。 ②営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 ③60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。 【実績】 ①デジタルタコグラフから得られたデータを、半自動的に加工するソフトを活用して分析を行い、その結果を使って運転方法の指導を実施。燃料費の削減や有責事故の撲滅に努めた。 ②営業所再編や営業日変更を実施して、人件費抑制に努めた。 (R2年10月) 雄踏営業所と館山寺営業所を統合し浜松西営業所として再編。 天竜営業所を浜松東営業所の管轄車庫として再編。天竜営業所管轄の春野車庫を廃止。 (R3年2月) ターミナル営業所を廃止し、ターミナル営業所管轄の松江町車庫を浜松東営業所の管轄車庫として再編。 (R3年4月) 浜松南営業所を磐田営業所の管轄車庫として再編。 R2年9月時点…営業所9箇所 車庫16箇所 → R4年9月時点…営業所5箇所 車庫18箇所(R4年10月:伊平車庫、中田島車庫閉鎖、中川車庫新設) (R3年5月) 浜松駅バスターミナル窓口を毎日営業から水曜日定休に運用変更 (R4年12月)磐田整備センターの窓口業務終了 (R5年1月)整備センターの窓口営業時間の短縮 9:00～17:50 → 9:30～17:00 ③乗務員交番作成をAIを使用し自動化することで、間接人件費の抑制と効率的な運用を実現した。

(2) 各項目の評価

項 目	内 容
ネットワーク構成	(主な乗換え拠点・バス停) 【拠点】 二俣駅・磐田駅 【バス停】 山東・秋野不矩美術館入口・西坂町・加茂川
公共施設 拠点施設 アクセス状況	(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設) 天竜高校・磐田農業高校・磐田南高・磐田西小・磐田市役所・中遠総合庁舎・磐田市立中央図書館 天竜区役所・JR磐田駅・遠鉄西鹿島駅・天浜豊岡駅・天浜二俣駅

地域間幹線系統確保維持計画系統別評価シート

6

(様式1)

事業者名	遠州鉄道株式会社				
系統名(起点～経由地～終点)	磐田天竜線(山東～ららぽーと磐田～磐田駅)				
計画策定年度	令和4年度	運行期間	R4.10.1～R5.9.30	評価年度	令和5年度

(1) 基本的事項

項目	基準	計画 (目標)	運行実績 (内容)	評価	備考
主な運行目的	事業者記載事項	—	別紙	A	A: 運行目的どおり適切に実施 B: 減便・系統短縮等、運行目的どおり実施されていない点があった C: 運行目的どおり実施されなかった(路線廃止)
増収策	事業者計画と実績を比較	—	別紙	有	事業者ごとの取組を記載
費用削減策	事業者計画と実績を比較	—	別紙	有	事業者ごとの取組を記載

(2) 各項目の評価

項目	評価基準	計画 (目標)	運行実績 (内容)	評価 点数	評価	備考
運行回数	年間計画運行回数と実績運行回数を比較	(5229.0)回 (14.3回/日)	(5221.0)回 (14.3回/日)	0	計画数以上 3点 計画数未満 0点 (国土交通大臣が認める除外運行回数は除く)	計画(目標)は表2記載のもの
収支率	計画値に対する実績値	48.7%	47.3%	12	～29% 0点 30～34% 3点 35～39% 6点 40～44% 9点 45～49% 12点 50～54% 15点 55%～ 18点	
乗車人員	計画人員と実績人員を比較	215,429人	209,236人	3	5%超 6点 ▲5%以上5%以内 3点 ▲5%超 0点	
ネットワーク構成	他の系統の乗換可能なアクセス拠点(バス停等)の数	—	拠点(2)箇所 バス停(4)箇所	8	拠点(駅・BT): 1箇所2点 乗換可能なバス停: 1箇所1点 上限20点	主な拠点及びバス停を別紙に記載
広域トリップ状況	市町跨ぎの移動割合(H13.3.31現在の市町)(運行実績による)	—	34.60%	20	～4% 0点 5～9% 5点 10～14% 10点 15～19% 15点 20%～ 20点	
公共施設・拠点施設アクセス状況	評価対象外 (バス停から半径500m以内に存在する学校(小・中・高・大・専門学校) 病院(主なもので可) 拠点商業施設・企業(主なもので可) その他(官公庁・駅等)	—	天竜高校 磐田南高 磐田農業高校 磐田西小 磐田市役所 中遠総合庁舎 磐田市立中央図書館 天竜区役所 ららぽーと磐田 JR磐田駅 遠鉄西鹿島駅 天浜豊岡駅 天浜二俣駅	—	—	
キロ当たり経費	補助対象年度の前年度の地域キロ当たり経常費用単価(静岡・山梨ブロック)との比較	—	424.34円	3	単価を上回った 0点 単価～▲5% 3点 単価▲6～▲10% 6点 単価▲11～▲15% 9点 単価▲16～▲20%超 12点	
合計				46	評価指標	B

A(52～79点): 地域間幹線系統として優れた役割を果たしている

B(26～51点): 地域間幹線系統として適した運行となっている

C(～25点): 地域間幹線系統として改善に努力を要する

地域間幹線系統確保維持計画系統別評価シート(別紙)

(1) 基本的事項

項 目	内 容
主な運行目的	旧天竜市中心部から大型商業施設を經由し磐田市中心部を結ぶ路線。代替の交通機関もないため、地域住民の通勤、通学及び日中の移動の手段として、欠かせない路線となっており、路線の維持とともに輸送量15人の確保を目標とする。
増収策	●事業者としての取組 【計画】 ①運賃箱から取得されるバス of 全運行データを活用して現況を把握し、旅客動向に応じたダイヤを作成。 ②グループ共通ポイントカードと連携して、ICカード乗車券のオートチャージ(自動積み増し)の利用を促進。 ③高齢の免許返納者向けに、格安の全線定期券の販売を強化。 ④定期券の継続購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口へ設置した発券機にて定期券を発行するサービスを促進。 ⑤定期券の新規購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口での受け渡しのほか配送でご自宅や最寄りコンビニエンスストアへ届けるサービスを開始。 ⑥大手私鉄が提供するスマートフォン用MaaSアプリにおいて、デジタルフリー乗車券の販売開始。 【実績】 ①旅客動向の分析を行い、令和4年10月と令和5年4月にダイヤ改正を実施。 ②ICカード乗車券のオートチャージ(自動積み増し)の利用を促進。 ③高齢の免許返納者向けに、格安の全線定期券の販売を実施。 ④定期券の継続購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口へ設置した発券機にて定期券を発行するサービスを展開。 ⑤定期券の新規購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口での受け渡しのほか配送でご自宅や最寄りコンビニエンスストアへ届けるサービスを展開。 ⑥大手私鉄が提供するスマートフォン用MaaSアプリにおいて、デジタルフリー乗車券の販売。
費用削減策	●事業者としての取組 【計画】 ①デジタルタコグラフのデータを使って、個人毎の運転特性を把握して、適切な指導を行うことで有責事故防止や燃料費抑制を図る。 ②営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 ③60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。 【実績】 ①デジタルタコグラフから得られたデータを、半自動的に加工するソフトを活用して分析を行い、その結果を使って運転方法の指導を実施。燃料費の削減や有責事故の撲滅に努めた。 ②営業所再編や営業日変更を実施して、人件費抑制に努めた。 (R2年10月) 雄踏営業所と館山寺営業所を統合し浜松西営業所として再編。 天竜営業所を浜松東営業所の管轄車庫として再編。天竜営業所管轄の春野車庫を廃止。 (R3年2月) ターミナル営業所を廃止し、ターミナル営業所管轄の松江町車庫を浜松東営業所の管轄車庫として再編。 (R3年4月) 浜松南営業所を磐田営業所の管轄車庫として再編。 R2年9月時点…営業所9箇所 車庫16箇所 → R4年9月時点…営業所5箇所 車庫18箇所(R4年10月:伊平車庫、中田島車庫閉鎖、中川車庫新設) (R3年5月) 浜松駅/バスターミナル窓口を毎日営業から水曜日定休に運用変更 (R4年12月)磐田整備センターの窓口業務終了 (R5年1月)整備センターの窓口営業時間の短縮 9:00～17:50 → 9:30～17:00 ③乗務員交番作成をAIを使用し自動化することで、間接人件費の抑制と効率的な運用を実現した。

(2) 各項目の評価

項 目	内 容
ネットワーク構成	(主な乗換え拠点・バス停) 【拠点】 二俣駅・磐田駅 【バス停】 山東・秋野不矩美術館入口・西坂町・加茂川
公共施設 拠点施設 アクセス状況	(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設) 天竜高校・磐田農業高校・磐田南高・磐田西小・磐田市役所・中遠総合庁舎・磐田市立中央図書館・天竜区役所 らぼーと磐田・JR磐田駅・遠鉄西鹿島駅・天浜豊岡駅・天浜二俣駅

地域間幹線系統確保維持計画系統別評価シート

7

(様式1)

事業者名		遠州鉄道株式会社			
系統名(起点～経由地～終点)		掛塚さなる台線(浜松駅～掛塚～豊浜郵便局)			
計画策定年度	令和4年度	運行期間	R4.10.1～R5.9.30	評価年度	令和5年度

(1) 基本的事項

項目	基準	計画 (目標)	運行実績 (内容)	評価	備考
主な運行目的	事業者記載事項	—	別紙	A	A: 運行目的どおり適切に実施 B: 減便・系統短縮等、運行目的どおり実施されていない点があった C: 運行目的どおり実施されなかった(路線廃止)
増収策	事業者計画と実績を比較	—	別紙	有	事業者ごとの取組を記載
費用削減策	事業者計画と実績を比較	—	別紙	有	事業者ごとの取組を記載

(2) 各項目の評価

項目	評価基準	計画 (目標)	運行実績 (内容)	評価 点数	評価	備考
運行回数	年間計画運行回数と実績運行回数を比較	(1520.0)回 (4.1回/日)	(1517.5)回 (4.4回/日)	0	計画数以上 3点 計画数未満 0点 (国土交通大臣が認める除外運行回数は除く)	計画(目標)は表2記載のもの
収支率	計画値に対する実績値	48.3%	57.2%	18	～29% 0点 30～34% 3点 35～39% 6点 40～44% 9点 45～49% 12点 50～54% 15点 55%～ 18点	
乗車人員	計画人員と実績人員を比較	47,152人	55,840人	6	5%超 6点 ▲5%以上5%以内 3点 ▲5%超 0点	
ネットワーク構成	他の系統の乗換可能なアクセス拠点(バス停等)の数	—	拠点(1)箇所 バス停(7)箇所	9	拠点(駅・BT): 1箇所2点 乗換可能なバス停: 1箇所1点 上限20点	主な拠点及びバス停を別紙に記載
広域トリップ状況	市町跨ぎの移動割合(H13.3.31現在の市町)(運行実績による)	—	34.70%	20	～4% 0点 5～9% 5点 10～14% 10点 15～19% 15点 20%～ 20点	
公共施設・拠点施設アクセス状況	評価対象外 (バス停から半径500m以内に存在する学校(小・中・高・大・専門学校)病院(主なもので可)拠点商業施設・企業(主なもので可)その他(官公庁・駅等))	—	浜松修学舎 竜洋西小学校 磐田市福田支所 JR浜松駅		—	
キロ当たり経費	補助対象年度の前年度の地域キロ当たり経常費用単価(静岡・山梨ブロック)との比較	—	424.34円	3	単価を上回った 0点 単価～▲5% 3点 単価▲6～▲10% 6点 単価▲11～▲15% 9点 単価▲16～▲20%超 12点	
合計				56	評価指標	A

A(52～79点): 地域間幹線系統として優れた役割を果たしている
B(26～51点): 地域間幹線系統として適した運行となっている
C(～25点): 地域間幹線系統として改善に努力を要する

地域間幹線系統確保維持計画系統別評価シート(別紙)

(1) 基本的事項

項 目	内 容
主な運行目的	旧福田町から旧竜洋町を経由し、浜松駅へと至る路線。沿線には1つの高校が存在。代替の交通機関もないため、地域住民の通勤、通学的手段として欠かせない路線となっており、路線の維持とともに輸送量15人の確保を目標とする。
増収策	●事業者としての取組 【計画】 ①運賃箱から取得されるバス全運行データを活用して現況を把握し、旅客動向に応じたダイヤを作成。 ②グループ共通ポイントカードと連携して、ICカード乗車券のオートチャージ(自動積み増し)の利用を促進。 ③高齢の免許返納者向けに、格安の全線定期券の販売を強化。 ④定期券の継続購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口へ設置した発券機にて定期券を発行するサービスを促進。 ⑤定期券の新規購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口での受け渡しのほか配送でご自宅や最寄りコンビニエンスストアへ届けるサービスを開始。 ⑥大手私鉄が提供するスマートフォン用MaaSアプリにおいて、デジタルフリー乗車券を販売開始。 【実績】 ①旅客動向の分析を行い、令和4年10月と令和5年4月にダイヤ改正を実施。 ②ICカード乗車券のオートチャージ(自動積み増し)の利用を促進。 ③高齢の免許返納者向けに、格安の全線定期券の販売を実施。 ④定期券の継続購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口へ設置した発券機にて定期券を発行するサービスを展開。 ⑤定期券の新規購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口での受け渡しのほか配送でご自宅や最寄りコンビニエンスストアへ届けるサービスを展開。 ⑥大手私鉄が提供するスマートフォン用MaaSアプリにおいて、デジタルフリー乗車券を販売。
費用削減策	●事業者としての取組 【計画】 ①デジタルタコグラフのデータを使って、個人毎の運転特性を把握して、適切な指導を行うことで有責事故防止や燃料費抑制を図る。 ②営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 ③60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。 【実績】 ①デジタルタコグラフから得られたデータを、半自動的に加工するソフトを活用して分析を行い、その結果を使って運転方法の指導を実施。燃料費の削減や有責事故の撲滅に努めた。 ②営業所再編や営業日変更を実施して、人件費抑制に努めた。 (R2年10月) 雄踏営業所と館山寺営業所を統合し浜松西営業所として再編。 天竜営業所を浜松東営業所の管轄車庫として再編。天竜営業所管轄の春野車庫を廃止。 (R3年2月) ターミナル営業所を廃止し、ターミナル営業所管轄の松江町車庫を浜松東営業所の管轄車庫として再編。 (R3年4月) 浜松南営業所を磐田営業所の管轄車庫として再編。 R2年9月時点…営業所9箇所 車庫16箇所 → R4年9月時点…営業所5箇所 車庫18箇所(R4年10月:伊平車庫、中田島車庫閉鎖、中川車庫新設) (R3年5月) 浜松駅バスターミナル窓口を毎日営業から水曜日定休に運用変更 (R4年12月)磐田整備センターの窓口業務終了 (R5年1月)整備センターの窓口営業時間の短縮 9:00～17:50 → 9:30～17:00 ③乗務員交番作成をAIを使用し自動化することで、間接人件費の抑制と効率的な運用を実現した。

(2) 各項目の評価

項 目	内 容
ネットワーク構成	(主な乗換え拠点・バス停) 【拠点】 浜松駅バスターミナル 【バス停】 東部協働センター・名塚西・芳川西・芳川・新道・前嶋・福田車庫
公共施設 拠点施設 アクセス状況	(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設) 浜松修学舎・竜洋西小学校・磐田市福田支所・JR浜松駅

地域間幹線系統確保維持計画系統別評価シート

10

(様式1)

事業者名	遠州鉄道株式会社				
系統名(起点～経由地～終点)	磐田市立病院福田線(磐田駅南口～豊浜郵便局)				
計画策定年度	令和4年度	運行期間	R4.10.1～R5.9.30	評価年度	令和5年度

(1) 基本的事項

項目	基準	計画 (目標)	運行実績 (内容)	評価	備考
主な運行目的	事業者記載事項	—	別紙	B	A: 運行目的どおり適切に実施 B: 減便・系統短縮等、運行目的どおり実施されていない点があった C: 運行目的どおり実施されなかった(路線廃止)
増収策	事業者計画と実績を比較	—	別紙	有	事業者ごとの取組を記載
費用削減策	事業者計画と実績を比較	—	別紙	有	事業者ごとの取組を記載

(2) 各項目の評価

項目	評価基準	計画 (目標)	運行実績 (内容)	評価 点数	評価	備考
運行回数	年間計画運行回数と実績運行回数を比較	(2493.0)回 (6.8回/日)	(2489.5)回 (6.8回/日)	0	計画数以上 3点 計画数未満 0点 (国土交通大臣が認める除外運行回数は除く)	計画(目標)は表2記載のもの
収支率	計画値に対する実績値	44.4%	47.2%	12	～29% 0点 30～34% 3点 35～39% 6点 40～44% 9点 45～49% 12点 50～54% 15点 55%～ 18点	
乗車人員	計画人員と実績人員を比較	44,110人	46,892人	6	5%超 6点 ▲5%以上5%以内 3点 ▲5%超 0点	
ネットワーク構成	他の系統の乗換可能なアクセス拠点(バス停等)の数	—	拠点(1)箇所 バス停(3)箇所	5	拠点(駅・BT): 1箇所2点 乗換可能なバス停: 1箇所1点 上限20点	主な拠点及びバス停を別紙に記載
広域トリップ状況	市町跨ぎの移動割合(H13.3.31現在の市町)(運行実績による)	—	61.80%	20	～4% 0点 5～9% 5点 10～14% 10点 15～19% 15点 20%～ 20点	
公共施設・拠点施設アクセス状況	評価対象外 (バス停から半径500m以内に存在する学校(小・中・高・大・専門学校)病院(主なもので可)拠点商業施設・企業(主なもので可)その他(官公庁・駅等))	—	静岡産業大学 新都市病院 磐田市福田支所 JR磐田駅		—	
キロ当たり経費	補助対象年度の前年度の地域キロ当たり経常費用単価(静岡・山梨ブロック)との比較	—	424.34円	3	単価を上回った 0点 単価～▲5% 3点 単価▲6～▲10% 6点 単価▲11～▲15% 9点 単価▲16～▲20%超 12点	
合計				46	評価指標	B

A(52～79点): 地域間幹線系統として優れた役割を果たしている

B(26～51点): 地域間幹線系統として適した運行となっている

C(～25点): 地域間幹線系統として改善に努力を要する

地域間幹線系統確保維持計画系統別評価シート(別紙)

(1) 基本的事項

項 目	内 容
主な運行目的	JR磐田駅と旧福田町を結ぶ路線。JRから比較的離れた地域から最寄りのJR駅への接続をしており、代替の交通機関もないため、地域住民にとって必須の路線となっており、路線の維持とともに輸送量15人の確保を目標とする。
増収策	●事業者としての取組 【計画】 ①運賃箱から取得されるバスの全運行データを活用して現況を把握し、旅客動向に応じたダイヤを作成。 ②グループ共通ポイントカードと連携して、ICカード乗車券のオートチャージ(自動積み増し)の利用を促進。 ③高齢の免許返納者向けに、格安の全線定期券の販売を強化。 ④定期券の継続購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口へ設置した発券機にて定期券を発行するサービスを促進。 ⑤定期券の新規購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口での受け渡しのほか配送でご自宅や最寄りコンビニエンスストアへ届けるサービスを開始。 ⑥大手私鉄が提供するスマートフォン用MaaSアプリにおいて、デジタルフリー乗車券を販売開始。 【実績】 ①旅客動向の分析を行い、令和4年10月と令和5年4月にダイヤ改正を実施。 ②ICカード乗車券のオートチャージ(自動積み増し)の利用を促進。 ③高齢の免許返納者向けに、格安の全線定期券の販売を実施。 ④定期券の継続購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口へ設置した発券機にて定期券を発行するサービスを展開。 ⑤定期券の新規購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口での受け渡しのほか配送でご自宅や最寄りコンビニエンスストアへ届けるサービスを展開。 ⑥大手私鉄が提供するスマートフォン用MaaSアプリにおいて、デジタルフリー乗車券を販売。
費用削減策	●事業者としての取組 【計画】 ①デジタルタコグラフのデータを使って、個人毎の運転特性を把握して、適切な指導を行うことで有責事故防止や燃料費抑制を図る。 ②営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 ③60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。 【実績】 ①デジタルタコグラフから得られたデータを、半自動的に加工するソフトを活用して分析を行い、その結果を使って運転方法の指導を実施。燃料費の削減や有責事故の撲滅に努めた。 ②営業所再編や営業日変更を実施して、人件費抑制に努めた。 (R2年10月) 雄踏営業所と館山寺営業所を統合し浜松西営業所として再編。 天竜営業所を浜松東営業所の管轄車庫として再編。天竜営業所管轄の春野車庫を廃止。 (R3年2月) ターミナル営業所を廃止し、ターミナル営業所管轄の松江町車庫を浜松東営業所の管轄車庫として再編。 (R3年4月) 浜松南営業所を磐田営業所の管轄車庫として再編。 R2年9月時点…営業所9箇所 車庫16箇所 → R4年9月時点…営業所5箇所 車庫18箇所(R4年10月:伊平車庫、中田島車庫閉鎖、中川車庫新設) (R3年5月) 浜松駅バスターミナル窓口を毎日営業から水曜日定休に運用変更 (R4年12月)磐田整備センターの窓口業務終了 (R5年1月)整備センターの窓口営業時間の短縮 9:00～17:50 → 9:30～17:00 ③乗務員交番作成をAIを使用し自動化することで、間接人件費の抑制と効率的な運用を実現した。

(2) 各項目の評価

項 目	内 容
ネットワーク構成	(主な乗換え拠点・バス停) 【拠点】 磐田駅南口 【バス停】 新道・前嶋・福田車庫
公共施設 拠点施設 アクセス状況	(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設) 静岡産業大学・新都市病院・磐田市福田支所・JR磐田駅

地域間幹線系統確保維持計画系統別評価シート

19

(様式1)

事業者名		遠州鉄道株式会社			
系統名(起点～経由地～終点)		掛塚さなる台線(浜松駅～芳川～掛塚)			
計画策定年度	令和4年度	運行期間	R4.10.1～R5.9.30	評価年度	令和5年度

(1) 基本的事項

項目	基準	計画 (目標)	運行実績 (内容)	評価	備考
主な運行目的	事業者記載事項	—	別紙	A	A: 運行目的どおり適切に実施 B: 減便・系統短縮等、運行目的どおり実施されていない点があった C: 運行目的どおり実施されなかった(路線廃止)
増収策	事業者計画と実績を比較	—	別紙	有	事業者ごとの取組を記載
費用削減策	事業者計画と実績を比較	—	別紙	有	事業者ごとの取組を記載

(2) 各項目の評価

項目	評価基準	計画 (目標)	運行実績 (内容)	評価 点数	評価	備考
運行回数	年間計画運行回数と実績運行回数を比較	(9003.5)回 (24.6回/日)	(9004.0)回 (24.6回/日)	3	計画数以上 3点 計画数未満 0点 (国土交通大臣が認める除外運行回数は除く)	計画(目標)は表2記載のもの
収支率	計画値に対する実績値	69.2%	89.6%	18	～29% 0点 30～34% 3点 35～39% 6点 40～44% 9点 45～49% 12点 50～54% 15点 55%～ 18点	
乗車人員	計画人員と実績人員を比較	183,157	237,151	6	5%超 6点 ▲5%以上5%以内 3点 ▲5%超 0点	
ネットワーク構成	他の系統の乗換可能なアクセス拠点(バス停等)の数	—	拠点(2)箇所 バス停(4)箇所	8	拠点(駅・BT): 1箇所2点 乗換可能なバス停: 1箇所1点 上限20点	主な拠点及びバス停を別紙に記載
広域トリップ状況	市町跨ぎの移動割合(H13.3.31現在の市町)(運行実績による)	—	24.60%	20	～4% 0点 5～9% 5点 10～14% 10点 15～19% 15点 20%～ 20点	
公共施設・拠点施設アクセス状況	評価対象外 (バス停から半径500m以内に存在する学校(小・中・高・大・専門学校)病院(主なもので可)拠点商業施設・企業(主なもので可)その他(官公庁・駅等))	—	JR浜松駅 アクトシティ 東部協働センター 浜松修学舎高校 芳川小学校		—	
キロ当たり経費	補助対象年度の前年度の地域キロ当たり経常費用単価(静岡・山梨ブロック)との比較	—	424.34円	3	単価を上回った 0点 単価～▲5% 3点 単価▲6～▲10% 6点 単価▲11～▲15% 9点 単価▲16～▲20%超 12点	
合計				58	評価指標	A

A(52～79点): 地域間幹線系統として優れた役割を果たしている
B(26～51点): 地域間幹線系統として適した運行となっている
C(～25点): 地域間幹線系統として改善に努力を要する

地域間幹線系統確保維持計画系統別評価シート(別紙)

(1) 基本的事項

項 目	内 容
主な運行目的	浜松市中心部から掛塚街道沿いを東進し、旧竜洋町の掛塚までを結ぶ広域幹線。沿線には公共施設、学校があり、地域住民にとって欠かせない路線となっている。路線の維持とともに輸送量15人の確保を目標とする。
増収策	●事業者としての取組 【計画】 ①運賃箱から取得されるバス of 全運行データを活用して現況を把握し、旅客動向に応じたダイヤを作成。 ②グループ共通ポイントカードと連携して、ICカード乗車券のオートチャージ(自動積み増し)の利用を促進。 ③高齢の免許返納者向けに、格安の全線定期券の販売を強化。 ④定期券の継続購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口へ設置した発券機にて定期券を発行するサービスを促進。 ⑤定期券の新規購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口での受け渡しのほか配送でご自宅や最寄りコンビニエンスストアへ届けるサービスを開始。 ⑥大手私鉄が提供するスマートフォン用MaaSアプリにおいて、デジタルフリー乗車券を販売開始。 【実績】 ①旅客動向の分析を行い、令和4年10月と令和5年4月にダイヤ改正を実施。 ②ICカード乗車券のオートチャージ(自動積み増し)の利用を促進。 ③高齢の免許返納者向けに、格安の全線定期券の販売を実施。 ④定期券の継続購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口へ設置した発券機にて定期券を発行するサービスを展開。 ⑤定期券の新規購入に対して、WEBで申し込みを受け付け、営業窓口での受け渡しのほか配送でご自宅や最寄りコンビニエンスストアへ届けるサービスを展開。 ⑥大手私鉄が提供するスマートフォン用MaaSアプリにおいて、デジタルフリー乗車券を販売。
費用削減策	●事業者としての取組 【計画】 ①デジタルタコグラフのデータを使って、個人毎の運転特性を把握して、適切な指導を行うことで有責事故防止や燃料費抑制を図る。 ②営業所の営業時間の変更や窓口の閉鎖を行うことにより、間接部門人件費の抑制を図る。 ③60歳以上の乗務員の再雇用制度の普及を進めることにより、直接人件費の抑制を図る。 【実績】 ①デジタルタコグラフから得られたデータを、半自動的に加工するソフトを活用して分析を行い、その結果を使って運転方法の指導を実施。燃料費の削減や有責事故の撲滅に努めた。 ②営業所再編や営業日変更を実施して、人件費抑制に努めた。 (R2年10月) 雄踏営業所と館山寺営業所を統合し浜松西営業所として再編。 天竜営業所を浜松東営業所の管轄車庫として再編。天竜営業所管轄の春野車庫を廃止。 (R3年2月) ターミナル営業所を廃止し、ターミナル営業所管轄の松江町車庫を浜松東営業所の管轄車庫として再編。 (R3年4月) 浜松南営業所を磐田営業所の管轄車庫として再編。 R2年9月時点…営業所9箇所 車庫16箇所 → R4年9月時点…営業所5箇所 車庫18箇所(R4年10月:伊平車庫、中田島車庫閉鎖、中川車庫新設) (R3年5月) 浜松駅バスターミナル窓口を毎日営業から水曜日定休に運用変更 (R4年12月)磐田整備センターの窓口業務終了 (R5年1月)整備センターの窓口営業時間の短縮 9:00～17:50 → 9:30～17:00 ③乗務員交番作成をAIを使用し自動化することで、間接人件費の抑制と効率的な運用を実現した。

(2) 各項目の評価

項 目	内 容
ネットワーク構成	(主な乗換え拠点・バス停) 【拠点】 浜松駅バスターミナル、掛塚(磐田市自主運行バス) 【バス停】 アクトシティ、東部協働センター、芳川西、芳川
公共施設 拠点施設 アクセス状況	(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設) JR浜松駅、アクトシティ、東部協働センター、浜松修学舎高校、芳川小学校

地域間幹線系統市町取組シート

様式3

市町名

磐田市

系統名	取組内容
全路線	地域間幹線系統の路線運行を維持するバス事業者に対し、補助金を交付した。 ・補助対象（区間） 地域間幹線系統路線のうち、市内を運行する全区間 ・補助率 経常欠損額から国県補助金及び競合カット額を除いた額の1/2 ・補助額 24,872千円
全路線	・市ホームページから運行事業者ホームページへのリンク設定や、バス路線図の配置により、住民への周知を図った。
全路線	・エコ通勤の日を設定し、職員に対してバスをはじめとした公共交通機関の利用を促進した。
全路線	・市自主運行バス路線の行き先に地域間幹線系統のバス停を設定し、接続した。

(*)当該系統に対するMMなど利用促進に関する取組や金銭的負担等について具体的に記載

磐田市地域公共交通会議 検討部会設置要領

(趣旨)

第1条 この要領は、磐田市地域公共交通会議設置要綱（以下「要綱」という。）第6条の規定により、磐田市地域公共交通会議に検討部会を設置することに関し必要な事項を定めるものとする。

(検討内容)

第2条 検討部会は、要綱第2条各号における次の事項について、必要な調査、検討及び資料の作成等を行う。

- (1) 新規路線の検討
- (2) デマンド型乗合タクシーの維持
- (3) ボランティア運送の支援
- (4) 運行内容の見直し
- (5) 先端技術の活用
- (6) その他会長が必要と認めるもの

(組織)

第3条 検討部会員（以下「部会員」という。）は、要綱第3条第2項第4号及び第5号に掲げる者の中から会長が指名する。

(部会長)

第4条 検討部会に、検討部会長（以下「部会長」という。）を置き、会長が指名する。

(会議)

第5条 検討部会の会議は、部会長が招集し、部会長が議長となる。

- 2 検討部会の会議は、部会員の半数以上が出席しなければ、開くことができない。
- 3 検討部会の会議は、出席部会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、部会長の決するところによる。
- 4 部会長は、必要と認めるときは、部会員以外の者を出席させ、意見又は説明を求めることができる。

(代理出席)

第6条 代理出席の規定は、磐田市地域公共交通会議 代理人出席 要領を準用する。

(報告)

第7条 部会長は、検討部会の調査、検討結果等を交通会議で報告しなければならない。

(庶務)

第8条 検討部会の庶務は、自治市民部において処理する。

(雑則)

第9条 この要領に定めるもののほか必要な事項は、部会長が別に定める。

附 則

この要領は、令和5年12月25日から施行する。